

日報検索データベース 操作マニュアル

日報検索データベースの各操作方法等についてご説明します。

0. [はじめに](#)

1. 総合メニュー

1-1. [データ入出力](#)

1-2. [物件管理](#)

1-3. [レインズ取込](#)

1-4. [システム設定](#)

1-5. [データベース保守](#)

1-6. [終了](#)

2. 物件管理

2-1. [顧客希望登録](#)

2-2. [物件情報整理](#)

2-2-1. [物件ツリーの読み込みと保存](#)

2-2-2. [物件ツリーの編集](#)

2-2-3. [物件データの絞り込み](#)

2-2-4. [絞り込み物件データをCSVエクスポート](#)

2-2-5. [絞り込み物件データをXMLエクスポート](#)

2-2-6. [特定物件の削除処理](#)

2-2-7. [自社管理物件へコピー](#)

2-3. [物件確認書印刷&情報メール配信](#)

2-3-1. [顧客希望リスト](#)

2-3-2. [物件確認書の印刷](#)

2-3-3. [情報メール配信](#)

2-3-4. [メール配信ログ](#)

2-3-5. [メールアカウント設定](#)

2-3-6. [メール送信文編集](#)

2-3-7. [選択した顧客希望データのCSVエクスポート](#)

2-3-8. [選択した顧客希望データのXMLエクスポート](#)

2-4. 自社管理物件登録

2-4-1. [自社管理物件を登録](#)

2-4-2. [設備条件入力](#)

2-4-3. [図面の登録](#)

2-4-4. [画像の登録](#)

2-4-5. [物件図面・概要書印刷](#)

3. レインズ取込

3-1. [日報データ自動取得システムDT 起動](#)

3-2. [検索データ自動取得システムDT 起動](#)

3-3. [タイマー起動](#)

4. データ入出力

4-1. [物件詳細データの入力](#)

4-2. [物件詳細データの出力](#)

4-2-1. [抽出条件](#)

4-2-2. [書き出し項目設定](#)

4-2-3. [タイトル名&データフィルタ設定](#)

4-2-4. [項目リセット](#)

4-2-5. [TP読み込み、TP書き出し](#)

4-2-6. [別名登録、別名リセット](#)

4-2-7. [フィルタ登録、フィルタリセット](#)

4-3. [登録件数&DB使用状況](#)

4-4. [入出力ログ参照&データメンテナンス](#)

5. システム設定

5-1. [CSV出力設定](#)

5-2. [共有フォルダの設定](#)

5-3. [CSV自動入出力設定](#)

- 5－4. [メール配信設定](#)
- 5－5. [バージョン情報](#)
- 5－6. [ライセンス登録](#)
- 5－7. [オンラインヘルプ](#)
- 6. データベース保守
 - 6－1. [内部D Bのバックアップ](#)
 - 6－2. [内部D Bのリストア](#)
 - 6－3. [内部D Bの初期化](#)
- 7. [データフィルタの仕様](#)
- 8. [日報（検索）データ自動取得システムと同期する](#)
- 9. [アカウント設定のサンプル（g m a i l、他）](#)
- 10. [条件式の書き方](#)

0. はじめに

本システムは、日報（検索）データ自動取得システムDTから出力されたCSV4データを手動（または自動）で取り込み、物件詳細データを手動（または自動）でCSV出力するアプリケーションです。

物件詳細データ出力時は、条件による対象データの抽出、タイトル名変更、データ加工（単位の削除等）が行えます。

物件データを一元管理し、データの絞り込み、顧客希望登録に基づく顧客へのメール配信、CSV・XMLファイルへの出力等を行うことが出来ます。

自社管理物件の登録を行うことが出来ます。また、図面や概要書の印刷も行うことが出来ます。

近畿レイズ物件を自社管理物件としてコピーし、図面や画像を追加したり、図面下部の帯に自社情報を印字することが出来ます。

図面には、図面フォーマット（BMP、GIF、JPG、JPEG、PNG、TIFF、TIF、**PDF**）が使用できます。

画像には、画像フォーマット（BMP、GIF、JPG、JPEG、PNG、TIFF、TIF）が使用できます。

蓄積されたデータベースのバックアップ、バックアップデータからの復元、初期化が可能です。

初期インストール時には、データの設定方法を解りやすくするために、デモデータがセットされていますので、ご使用の環境にあった適切な設定に置き換えてご利用ください。

ライセンス登録をされるまでは、体験版モードでのご利用となります。
体験版モード時の制約事項は以下の通りです。

【体験版モードの制約事項】

- 1) システムを起動する回数が30回を超えるまでは、すべての機能がご利用いただけます。
- 2) 但し、自動入出力処理とタイマー起動は、インストール後10日間のみご利用いただけます。
- 3) 起動30回を超えると、以下の機能が制限されます。

<データ入出力>

- ・「物件詳細データのCSV入力」が利用できません。
- ・「物件詳細データのCSV出力」が利用できません。
- ・「登録件数&DB使用状況」が利用できません。
- ・「入出力ログ参照&データメンテナンス」が利用できません。

<物件管理>

- ・「顧客希望登録」が利用できません。
- ・「自社管理物件登録」が利用できません。
- ・「物件情報整理」が利用できません。
- ・「物件確認書印刷&情報メール配信」が利用できません。

<レイズ取込>

- ・「日報データ自動取得システムDT」が利用できません。
- ・「検索データ自動取得システムDT」が利用できません。

＜システム設定＞

- ・「CSV出力設定」が利用できません。
- ・「共有フォルダの設定」が利用できません。
- ・「CSV自動入力設定」が利用できません。
- ・「メール配信設定」が利用できません。

＜データベース保守＞

- ・「内部DBのバックアップ」が利用できません。
- ・「内部DBのリストア」が利用できません。
- ・「内部DBの初期化」が利用できません。

本システムの最新ドキュメント・活用方法・その他については、http://agrimo.jp/wp/?page_id=8037 で公開していますのでご覧ください。

弊社ホームページ（<http://agrimo.jp>）では、最新のシステムに関する情報等を提供して参りますので、そちらの方もご確認いただければ幸いです。

2016年11月

アグリモ

1－1．データ入出力

1. メインメニューの「データ入出力」をクリックします。
2. データ入出力のサブメニューが表示されます。



【サブメニュー】

- ・物件詳細データのCSV入力 . . . 物件詳細データをCSVからDBに取り込みます。
- ・物件詳細データのCSV出力 . . . 物件詳細データをDBからCSVに出力します。
- ・登録件数&DB使用状況 . . . DBに登録されている物件件数とDB使用状況を表示します。
- ・入出力ログ参照&データメンテナンス . . . 入出力ログの参照とログから入力データの削除を行います。

1－2．物件管理

1. メインメニューの「物件管理」をクリックします。
2. データ入出力のサブメニューが表示されます。



【サブメニュー】

- ・顧客希望登録 . . . 顧客の希望条件を登録します。
- ・自社管理物件登録 . . . 自社管理物件を登録します。
- ・物件情報整理 . . . 物件詳細データを様々な条件で抽出し、CSV、XMLデータに出力します。
- ・物件確認書印刷&情報メール配信 . . . 物件確認書の印刷と顧客への物件情報メールを配信します。

1－3．レインズ取込

1. メインメニューの「レインズ取込」をクリックします。
2. データ入出力のサブメニューが表示されます。



【サブメニュー】

- ・ 日報データ自動取得システムDT 起動 . . . 日報データ自動取得システムDTを起動します。
- ・ 検索データ自動取得システムDT 起動 . . . 検索データ自動取得システムDTを起動します。

【タイマー起動】

日報（検索）データ自動取得システムDTを曜日・時間を指定して起動することができます。

●自動実行 曜日・時間の設定

- 1) 実行する曜日にチェックを付け、開始時間を24時間形式で入力します。
- 2) 「登録」をクリックします。

1－4．システム設定

1. メインメニューの「システム設定」をクリックします。
2. システム設定のサブメニューが表示されます。



【サブメニュー】

- ・ CSV出力設定 . . . CSV出力時の改行文字、区切り文字、文字コードなどの設定を行います。
- ・ 共有フォルダの設定 . . . 共有フォルダへアクセスするための設定を行います。
- ・ CSV自動入出力設定 . . . CSV自動入出力を行う時のパス名や動作方法を設定します。
- ・ メール配信設定 . . . メール配信を行う時の詳細設定を行います。
- ・ バージョン情報 . . . 日報検索データベースのバージョンを確認します。
- ・ ライセンス登録 . . . ライセンスコードを登録します。
- ・ オンラインヘルプ . . . オンラインで最新のドキュメント（操作マニュアル等）を参照します。

1－5．データベース保守

1. メインメニューの「データベース保守」をクリックします。
2. データベース保守のサブメニューが表示されます。

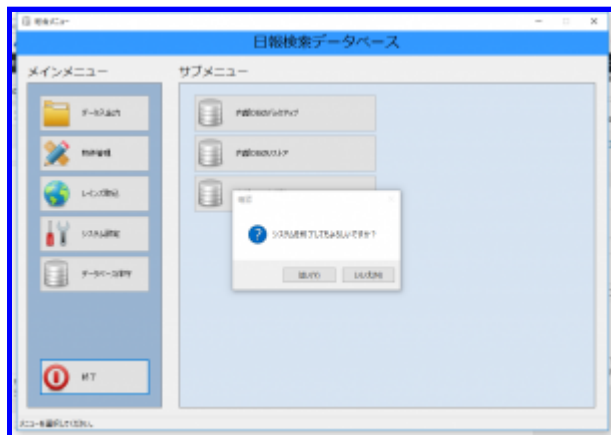


【サブメニュー】

- ・ 内部DBのバックアップ . . . 内部DBの全データをファイル（SDF形式）に保存します。
- ・ 内部DBのリストア . . . バックアップファイル（SDF形式）から内部DBにデータを戻します。
- ・ 内部DBの初期化 . . . 内部DBをインストール直後の状態にします。

1－6．終了

- 1．メインメニューの「終了」をクリックします。
- 2．「はい」をクリックします。



- 3．日報検索データベースが終了します。

2－1．顧客希望登録

顧客の基本情報と希望内容を登録し、顧客希望に合った物件詳細データを抽出できるようにします。

- 1．物件管理の「顧客希望登録」をクリックします。



- 2．顧客希望登録画面が表示されます。

＜新規登録＞

- 1) 「新規」をクリックします。

- 2) 顧客の基本情報を入力します。

3) 顧客の希望内容を入力します。

4) 「登録」をクリックして、「OK」をクリックします。

5) 登録されます。

<削除>

1) 一覧の中から、削除対象を選択します。

顧客情報登録

顧客コード: 200000 顧客名: 株式会社 住所: 和歌山県佐々木町1-2-3 メール: sample@example.jp 文字コード: utf-8 自宅電話: 090-123-4567 携帯電話: 090-123-4568

顧客情報: 顧客コード: 200000 顧客名: 株式会社 住所: 和歌山県佐々木町1-2-3 メール: sample@example.jp 文字コード: utf-8 自宅電話: 090-123-4567 携帯電話: 090-123-4568

削除

2) 「削除」をクリックして、「OK」をクリックします。

顧客情報登録

顧客コード: 200000 顧客名: 株式会社 住所: 和歌山県佐々木町1-2-3 メール: sample@example.jp 文字コード: utf-8 自宅電話: 090-123-4567 携帯電話: 090-123-4568

削除

3) 削除されます。

顧客情報登録

顧客コード: 200000 顧客名: 株式会社 住所: 和歌山県佐々木町1-2-3 メール: sample@example.jp 文字コード: utf-8 自宅電話: 090-123-4567 携帯電話: 090-123-4568

削除

<絞り込み>

1) 絞り込条件を設定して、「絞り込む」をクリックします。

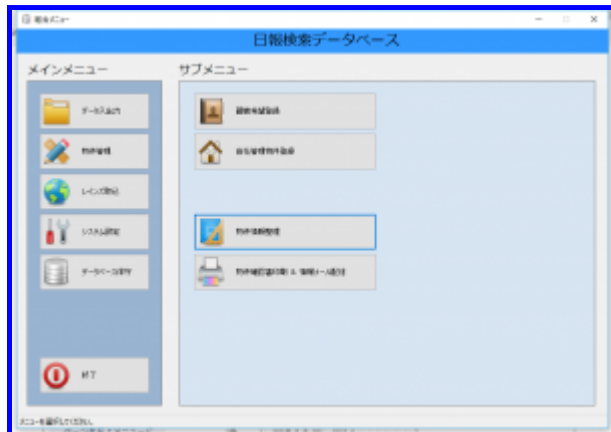
2-2. 物件情報整理

システムに取り込まれている物件データを様々な条件を基に抽出を行い、画面に一覧で表示し、データの整理を行います。

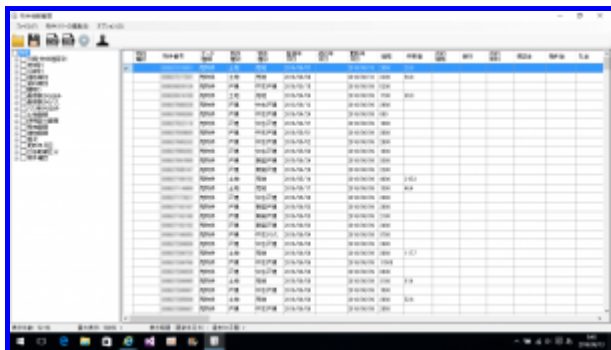
抽出された物件データをCSVやXMLファイルへエクスポートすることができます。

扱いたくない特定会員の物件データを削除したり、ネット広告転載を禁止している物件データを削除することができます。(特定物件の削除処理)

1. 物件管理の「物件情報整理」をクリックします。

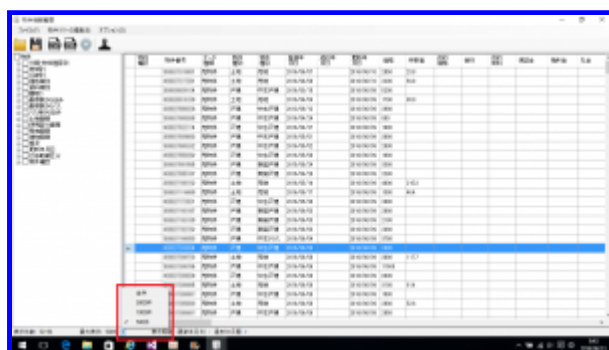


2. 「物件情報整理」画面が表示されます。



＜最大表示件数の変更＞

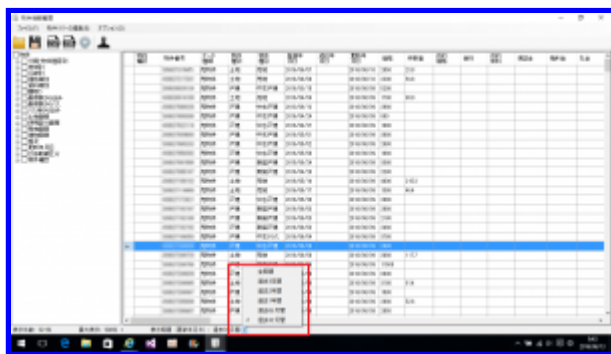
1. 画面下の「最大表示：」のすぐ右の▼をクリックします。



2. 「500件、1000件、5000件、全件」の中から選択します。
3. 一覧表示の最大表示件数が変更されます。

＜表示期間（更新年月日）の変更＞

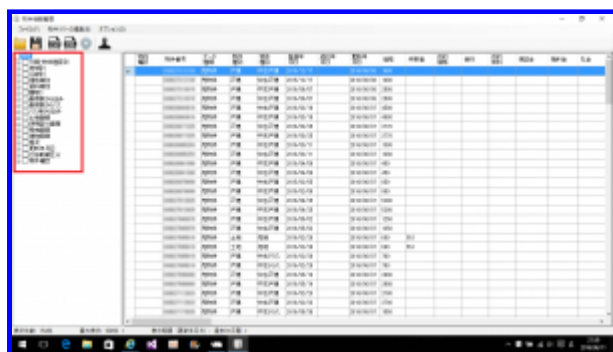
1. 画面下の「表示期間（更新年月日）：」のすぐ右の▼をクリックします。



2. 「過去3か月間、過去6か月間、過去1年間、過去2年間、過去3年間、全期間」の中から選択します。
3. 一覧表示の表示期間が変更されます。

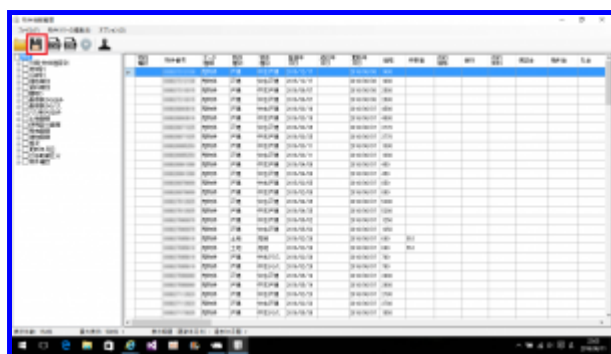
2-2-1. 物件ツリーの読み込みと保存

ツリー（下画面左上の赤枠内）の内容をファイルに保存、または、ファイルから読み込みます。

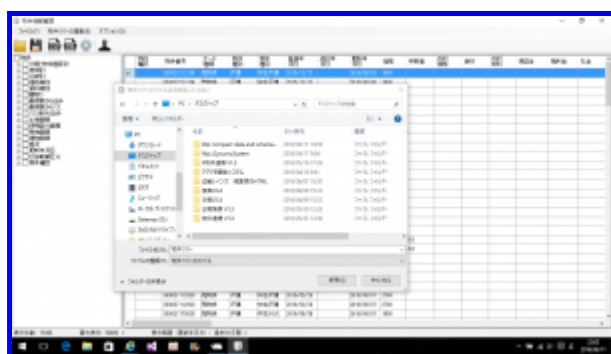


＜ファイルに保存＞

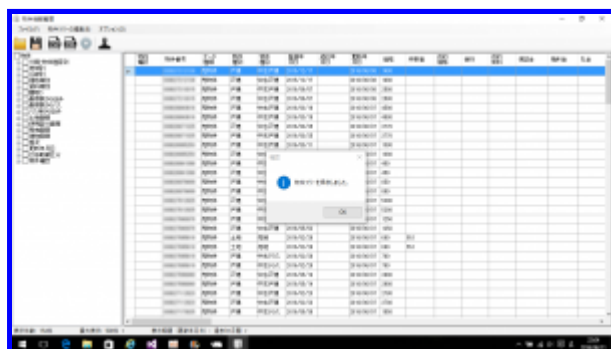
1) 「物件ツリーを保存する」のアイコンをクリック（または「ファイル」メニューの「物件ツリーを保存する」を選択）します。



2) 保存先とファイル名を指定し、「保存」をクリックします。

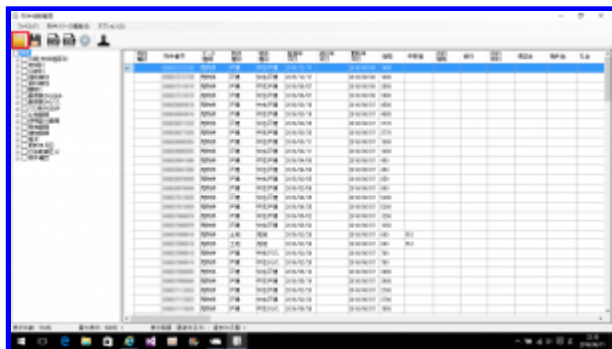


3) 物件ツリーがXML形式でファイルに保存されます。

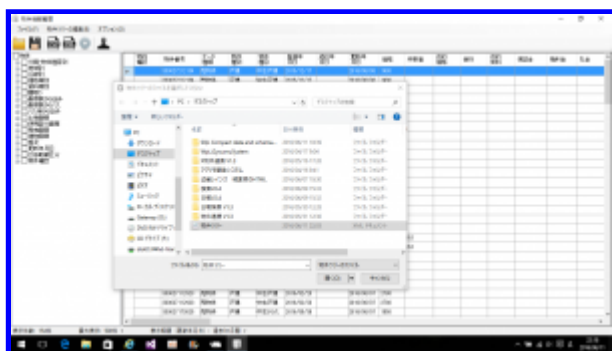


＜ファイルから読み込み＞

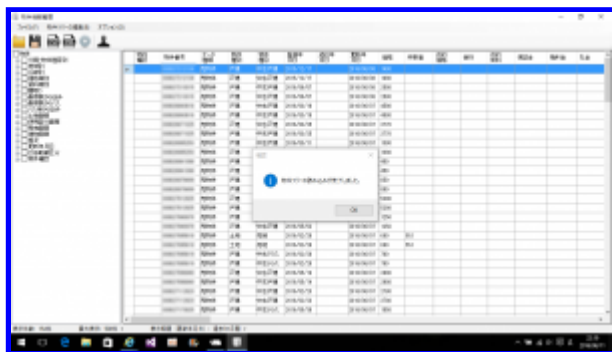
1) 「物件ツリーを開く」のアイコンをクリック（または「ファイル」メニューの「物件ツリーを開く」を選択）します。



2) 読み込み先とファイル名を指定し、「開く」をクリックします。



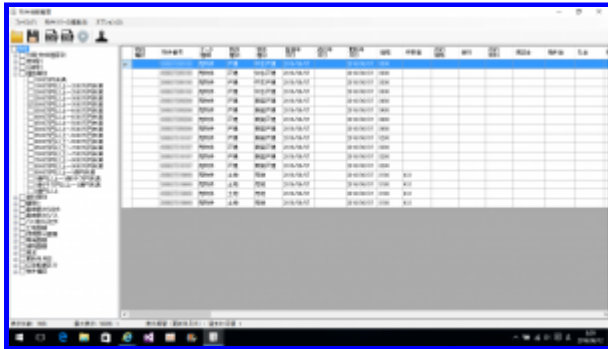
3) 指定した物件ツリーが読み込まれます。



2-2-2. 物件ツリーの編集

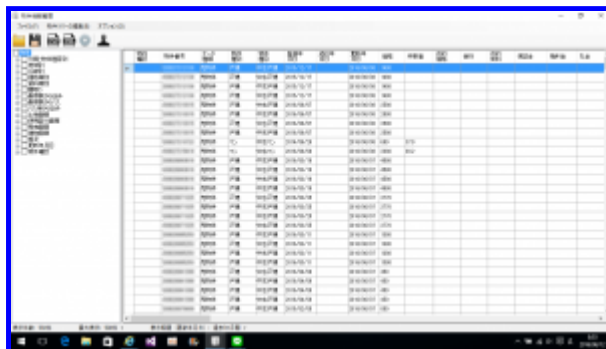
物件ツリーに新規アイテムを追加し、絞込条件を設定することができます。また、アイテムをツリー状に配置することにより、それぞれの条件を解りやすく分類することができます。

「ファイル」メニューの「物件ツリー編集」、または、物件ツリー内で右クリックすることにより、物件ツリー編集用メニューが表示されます。

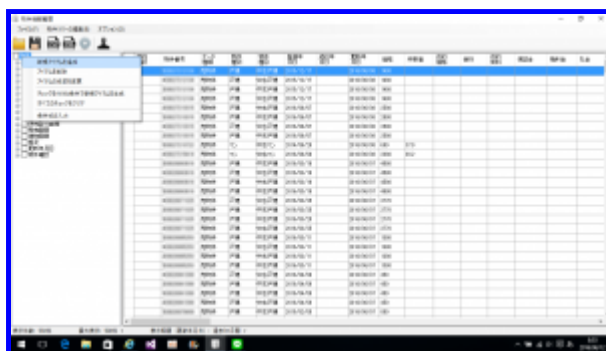


＜新規アイテムを追加＞

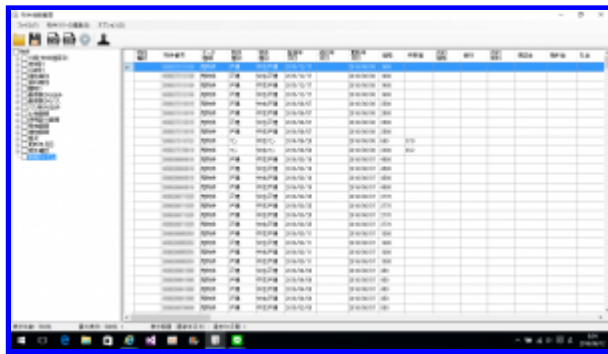
1) アイテムを追加する場所の親アイテムをクリックします。(ここでは、ルート（物件）をクリック)



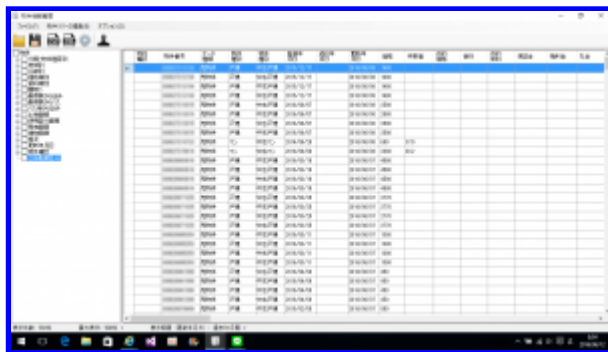
2) 右クリックして、物件ツリー編集用メニューの「新規アイテムを追加」を選択します。



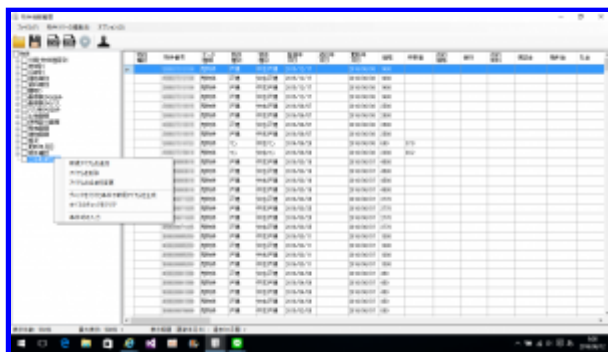
3) 同じ階層の一番下に「新規アイテム」が追加され、名前が変更できる状態になります。



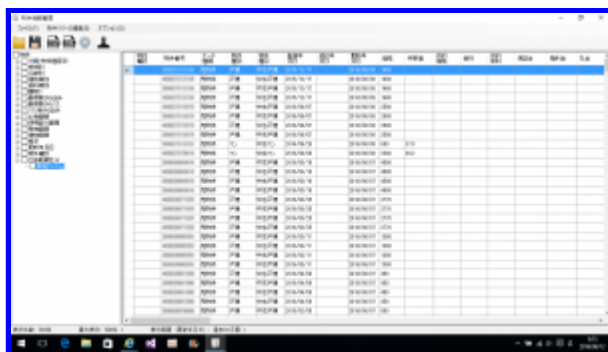
4) ここでは、例えば「広告転載区分」と入力し、Enterキーを押下します。



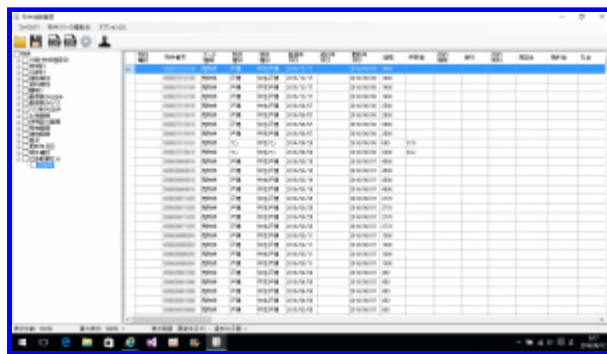
5) 今度は、作成した「広告転載区分」を選択し、右クリックして、さらに「新規アイテムを追加」を選択します。



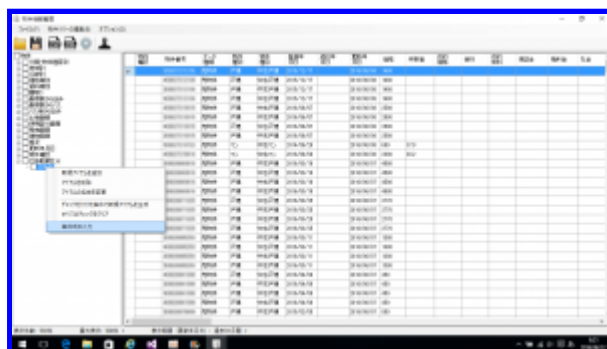
6) 「広告転載区分」の下階層に「新規アイテム」が追加され、名前が変更できる状態になります。



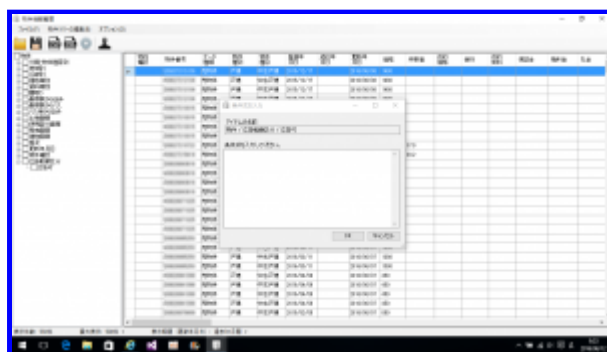
7) 名前を「広告可」に変更します。



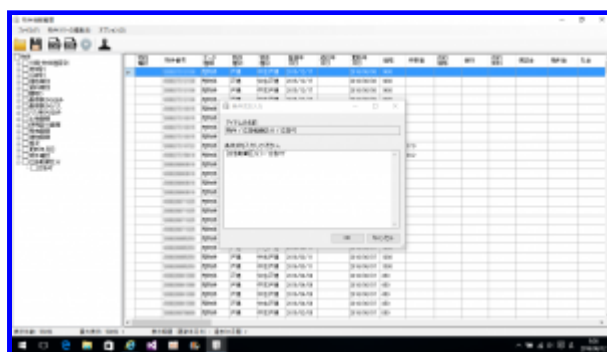
8) 次に、作成した「広告可」を選択し、右クリックして、「条件式の入力」を選択します。



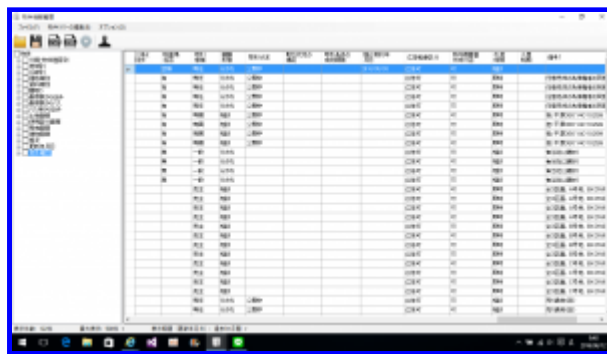
9) 「条件式の入力」画面が表示されますので、絞込条件を入力します。



10) ここでは、[広告転載区分] = ‘広告可’ という風に入力します。(括弧[, ’ はそれぞれ半角で) 入力後は、「OK」をクリックします。

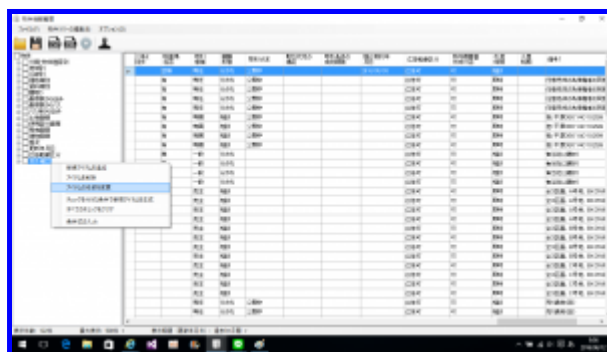


11) 動作の確認をします。今、作った「広告可」にチェックを付けてみます。すると、「広告転載区分」が「広告可」のものだけに絞り込まれているのがわかります。

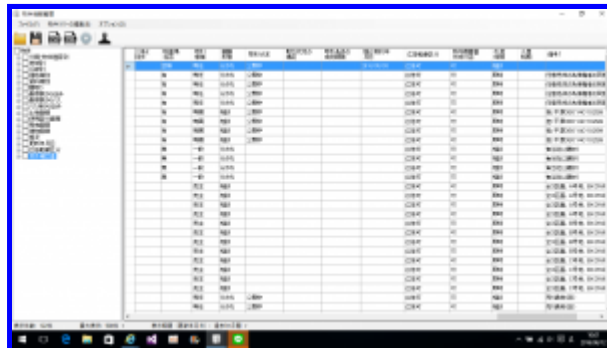


＜アイテムの名前を変更＞

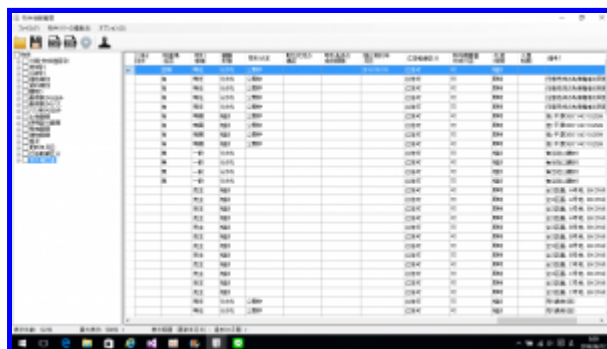
1) 名前を変更するアイテムを選択し、右クリックして「アイテムの名前を変更」を選択します。



2) アイテムが編集モードになるので、新しい名前を入力して、Enterキーを押下します。

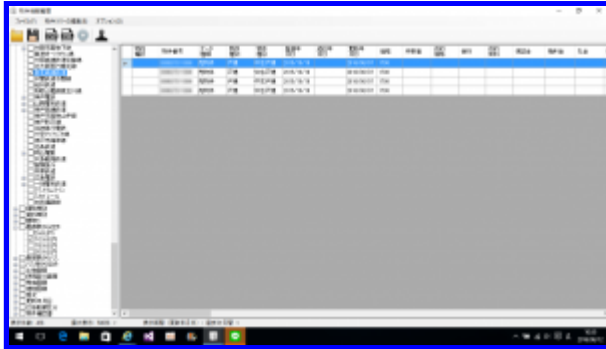
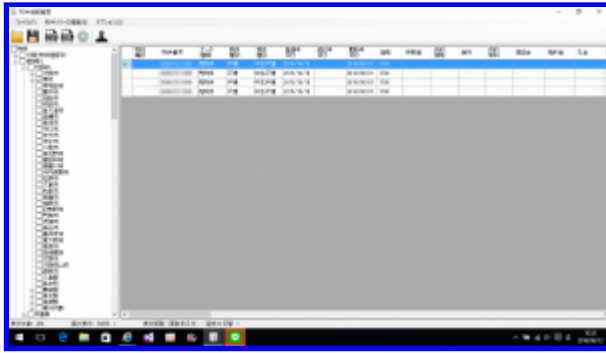


3) アイテム名が確定されます。

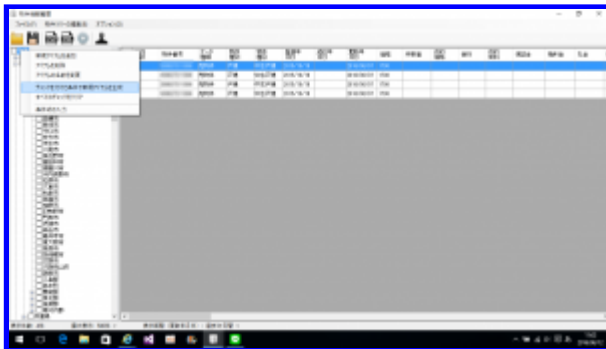


＜チェックを付けた条件で新規アイテムを生成＞

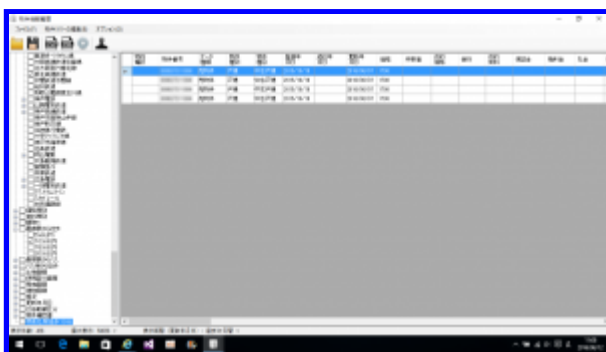
1) まず、いくつかの絞り込み条件を設定します。ここでは、例として、地域に「堺市」、沿線に「泉北高速鉄道」、最寄り駅から徒歩「10分以内」にチェックを付けます。



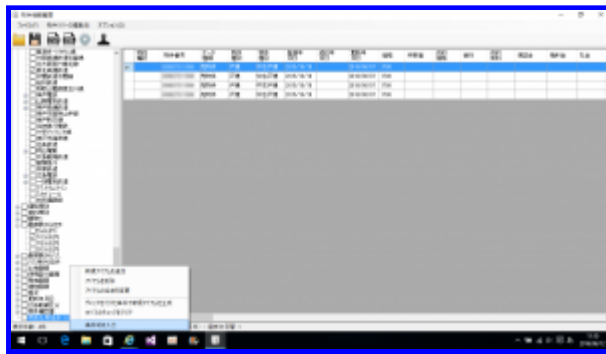
2) 右クリックして、編集メニューから「チェックを付けた条件で新規アイテムを生成」を選択します。



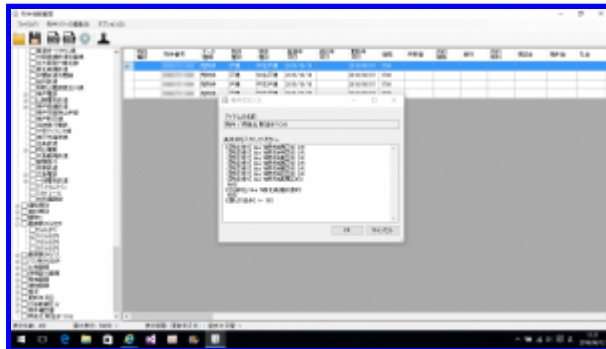
3) 物件ツリーの一番最後にアイテムが追加され、名前が編集状態になりますので、適当な名前を入力します。ここでは、例として、「堺泉北 駅徒歩10分」と入力します。



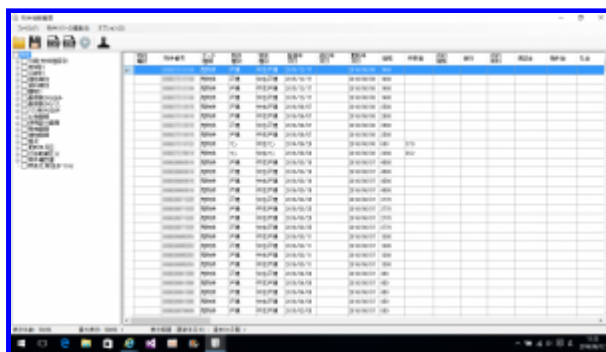
4) 生成したアイテムを選択し、右クリックして、編集メニューから「条件式の入力」を選択します。



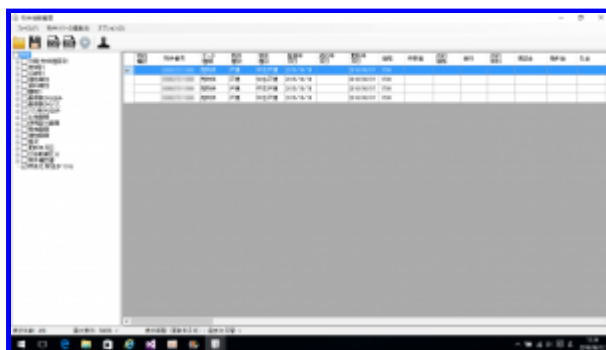
5) 生成したアイテムを選択し、右クリックして、編集メニューから「条件式の入力」を選択します。チェックした絞込条件で条件式が自動生成されていることがわかります。



6) 生成したアイテム「堺泉北 駅徒歩10分」にチェックを付けると、物件データが絞り込まれます。



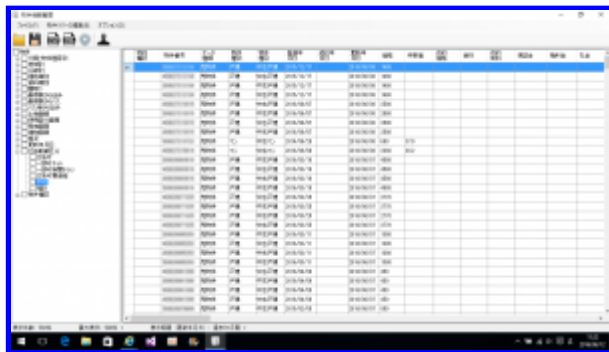
(チェック前)



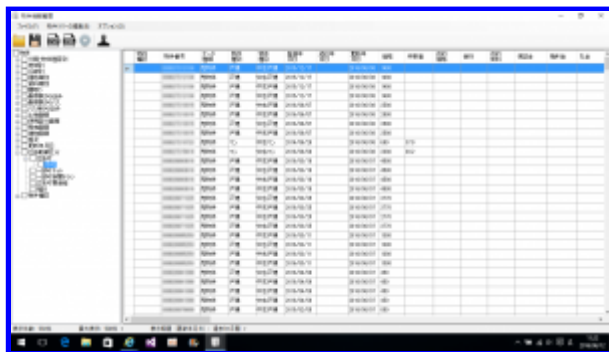
(チェック後)

<アイテムをドラッグして移動>

1) 移動するアイテムを選択し、左クリックし続けてドラッグ状態にします。



2) 移動したい先の親アイテムにマウスカーソルを重ねて、ドラッグ状態を解除します。



3) 親アイテムの下に移動されます。

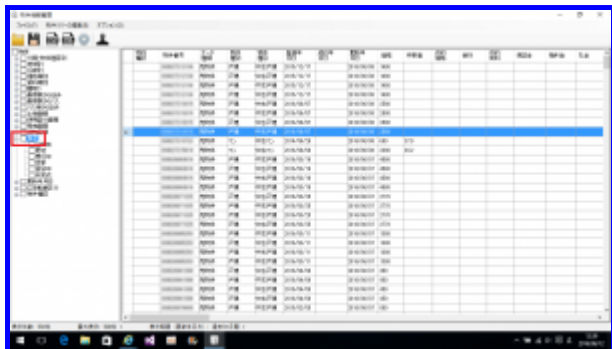
2-2-3. 物件データの絞り込み

システムに取り込んでいる物件データを特定の条件で絞り込みを行うことができます。

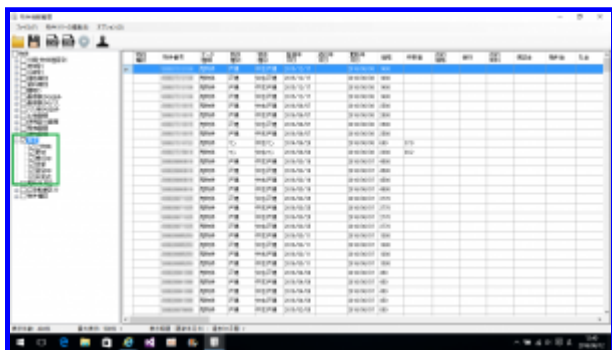
＜アイテムの親子関係＞

条件を入れないアイテムを作成し、その下層に条件を入れたアイテムを複数作成して、フォルダのようにまとめることができます。仮にこれを親子関係のアイテムとすると、親アイテムにチェックを付けると、その下層に位置するすべてのアイテムに自動的にチェックが付きます。

親アイテムである「現況」にチェックを付けます。



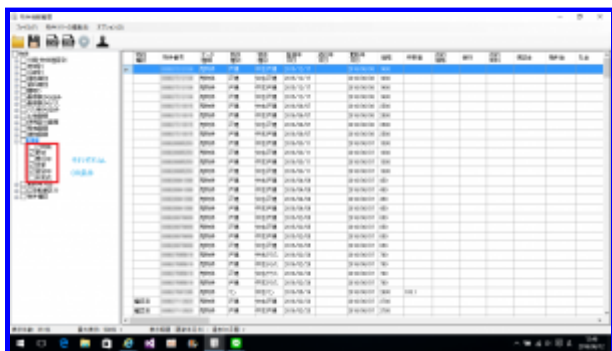
すべての子アイテムに自動的にチェックが付きます。



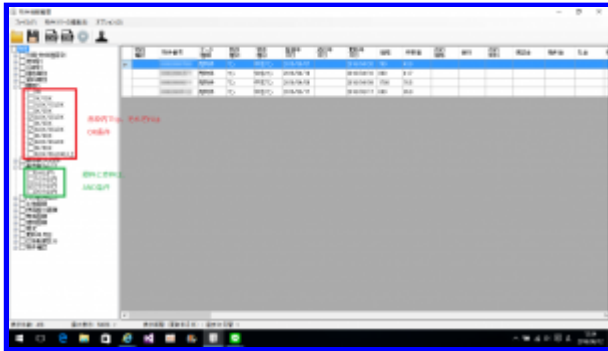
＜OR条件とAND条件＞

物件ツリーのアイテムにチェックを付けることにより、その条件が有効となり、物件データを絞り込むことができます。条件は、同じ階層同士ではOR条件、別の階層同士ではAND条件となります。

1) 同じ階層同士でチェックを付けた場合は、OR条件となります。



2) 別の階層同士でチェックを付けた場合は、AND条件となります。

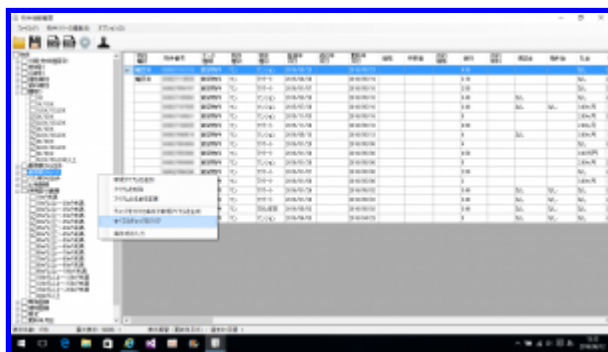


【留意事項】

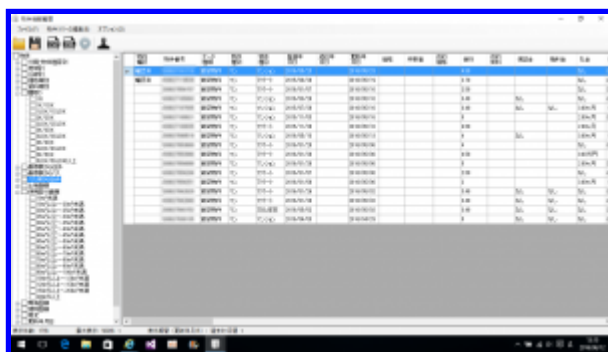
- ・ OR条件 … A または B または C または …
- ・ AND条件 … A かつ B かつ C かつ …

＜すべてのチェックをクリア＞

1) 物件ツリーにチェックが付いている状態で、右クリックして、編集メニューの「すべてのチェックをクリア」を選択します。



2) チェックがすべて外れた状態になります。

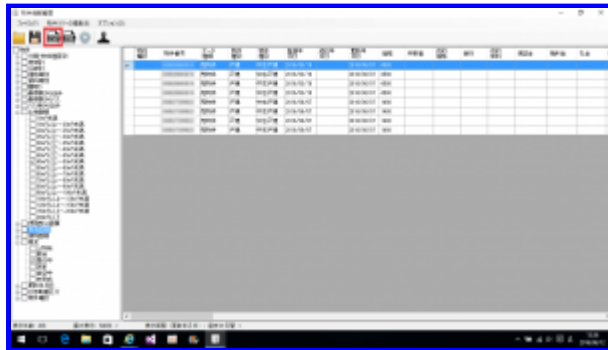


2-2-4. 絞り込み物件データをCSVエクスポート

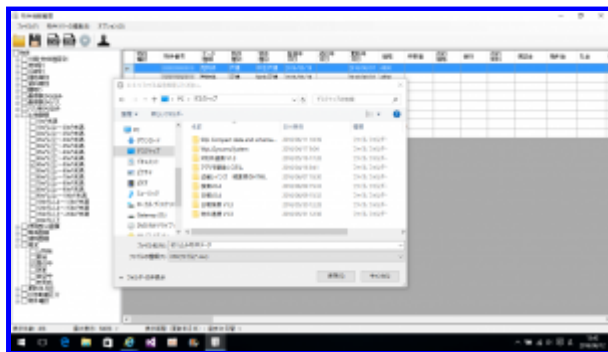
絞り込まれた物件データをCSV形式でファイルに出力することができます。

＜絞り込み物件データのCSVエクスポート＞

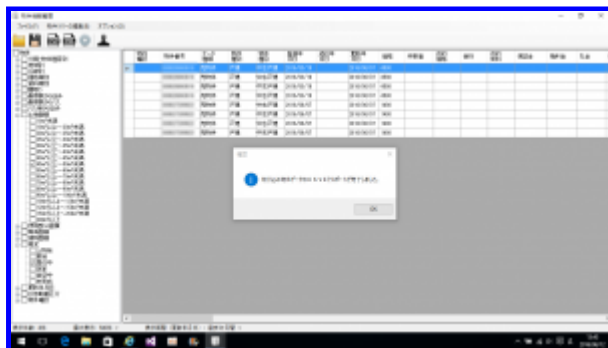
1) 「絞り込み物件データをCSVにエクスポート」アイコンをクリック（または「ファイル」メニューの「絞り込み物件データをエクスポート」を選択し、さらに「CSVにエクスポート」を選択）します。



2) 保存先とファイル名を指定して、「保存」をクリックします。



3) CSVファイルに絞り込み物件データがエクスポートされます。

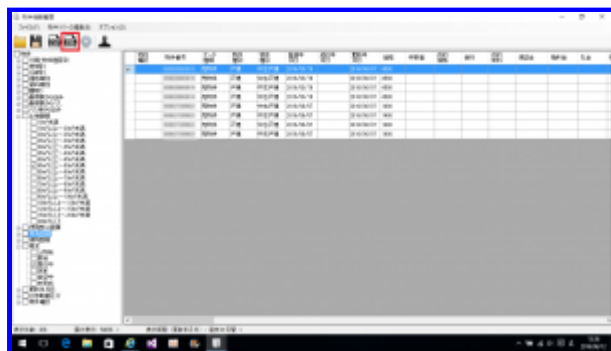


2-2-5. 絞り込み物件データをXMLエクスポート

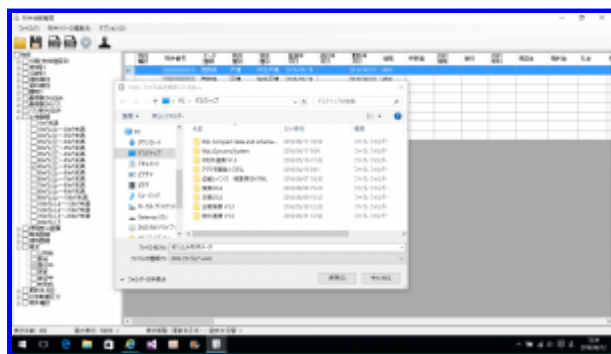
絞り込まれた物件データをXML形式でファイルに出力することができます。

＜絞り込み物件データのXMLエクスポート＞

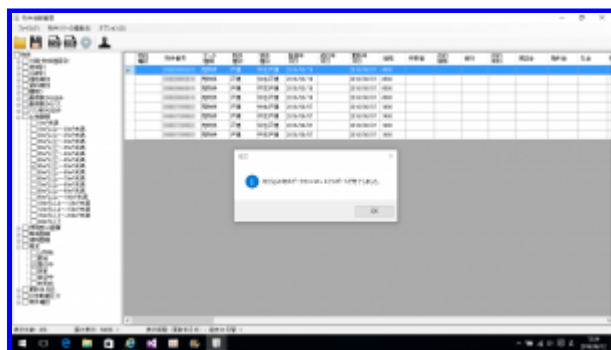
1) 「絞り込み物件データをXMLにエクスポート」アイコンをクリック（または「ファイル」メニューの「絞り込み物件データをエクスポート」を選択し、さらに「XMLにエクスポート」を選択）します。



2) 保存先とファイル名を指定して、「保存」をクリックします。



3) XMLファイルに絞り込み物件データがエクスポートされます。



2-2-6. 特定物件の削除処理

物件データをあらかじめセットしておいた条件で削除することができます。

- ・ブラック会員リスト … 会員名と電話番号を登録し、条件にマッチした会員物件を削除します。
- ・ネット公開禁止文言 … 備考欄に登録しておいたキーワードを含む物件データを削除します。

＜ブラック会員リストの新規登録＞

- 1) 「新規」をクリックします。

- 2) 「登録ID、会員名、電話番号」を入力して、「登録」をクリックし、「OK」をクリックします。

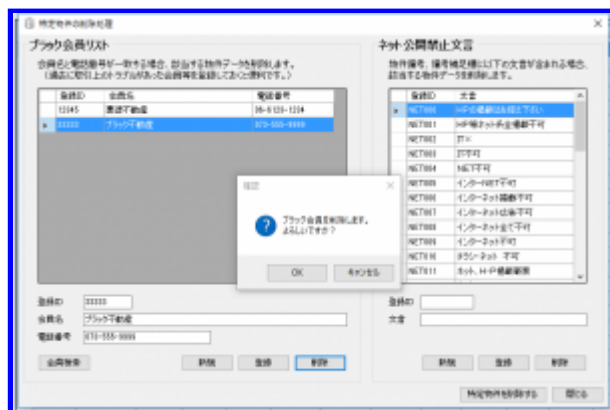
- 3) ブラック会員リストに追加されます。

＜ブラック会員リストの削除＞

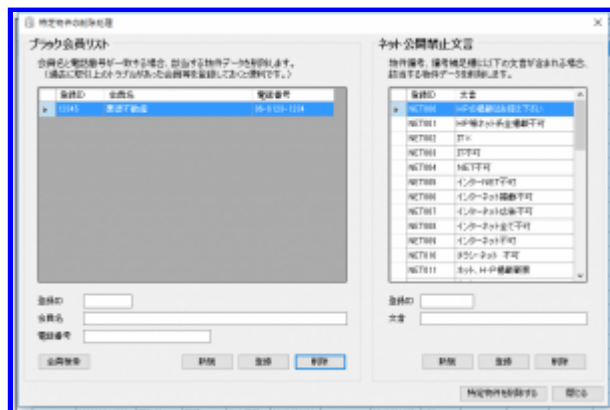
1) 一覧から削除対象のブラック会員を選択します。



2) 「削除」をクリックして、「OK」をクリックします。



3) ブラック会員が削除されます。



<会員検索>

ブラック会員リストに登録する会員を検索します。

1) 「検索会員」をクリックします。

2) 取り込まれている物件詳細データの会員リストが一覧で表示されます。

3) 「会員番号、会員名」の欄に検索対象を入力して「検索」をクリックすると、該当する会員名が表示されます。

4) 該当する会員名を選択して「OK」をクリックすると、ブラック会員リスト登録画面の「会員名、電話番号」欄に選択した会員情報がセットされます。

＜ネット公開禁止文言の新規登録＞

- 1) 「新規」をクリックします。

The screenshot shows a software window titled '特定物件の新規登録' (New Registration of Specific Properties). It is divided into two main panels. The left panel, 'ブラック会員リスト' (Black Member List), contains a table with columns '登録ID' (Registration ID), '会員名' (Member Name), and '電話番号' (Phone Number). Below the table are input fields for '登録ID', '会員名', and '電話番号', and buttons for '全件検索' (Search All), '新規' (New), '登録' (Register), and '削除' (Delete). The right panel, 'ネット公開禁止文言' (Net Public Prohibition Text), contains a table with columns '登録ID' (Registration ID) and '文言' (Text). Below the table are input fields for '登録ID' and '文言', and buttons for '新規' (New), '登録' (Register), and '削除' (Delete). At the bottom right, there are buttons for '特定物件を登録する' (Register Specific Property) and '閉じる' (Close).

- 2) 「登録ID、文言」を入力して、「登録」をクリックし、「OK」をクリックします。

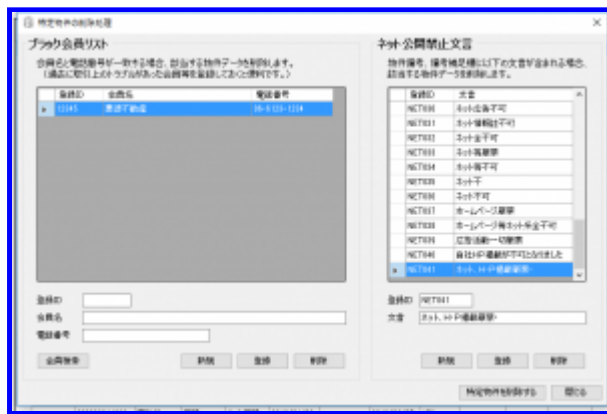
This screenshot is similar to the previous one, but it includes a small confirmation dialog box in the center. The dialog box has a question mark icon and the text '登録を登録します。よろしいですか?' (Register the registration. Is it all right?). It has 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The background window shows the 'ネット公開禁止文言' table with the '登録ID' field filled with 'NET001' and the '文言' field filled with 'ネット公開禁止'.

- 3) ネット公開禁止文言に追加されます。

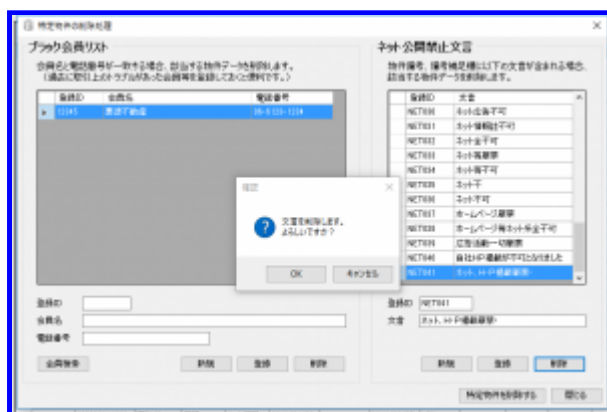
This screenshot shows the 'ネット公開禁止文言' table after the new entry has been added. The table now has 11 rows, with the first row being 'NET001 ネット公開禁止' and the last row being 'NET011 ネット、H-P掲載厳禁'.

＜ネット公開禁止文言の削除＞

- 1) 一覧から削除対象のネット公開禁止文言を選択します。



2) 「削除」をクリックして、「OK」をクリックします。

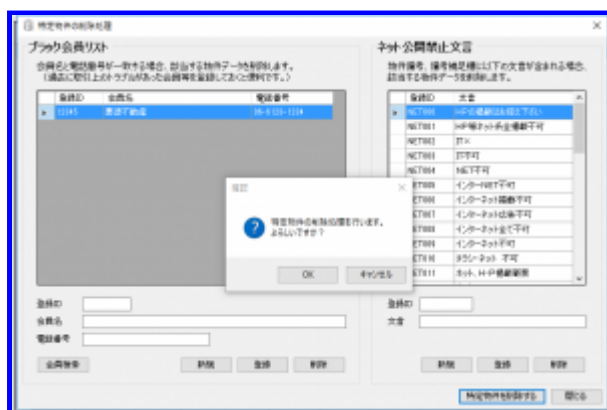


3) ネット公開禁止文言が削除されます。



＜特定物件を削除＞

1) 「特定物件を削除する」をクリックします。



2) 特定物件が削除されます。

指定物件の削除処理

ブラックリスト

登録名と電話番号が一致する場合、該当する物件を一時的に削除します。
(過去に削除した物件があった場合は再登録していただく必要があります。)

登録ID	登録名	電話番号
10041	東京不動産	03-1234-5678

登録ID: 登録名: 電話番号:

ネット公開禁止文言

物件番号、備考欄に以下の文言が記載される場合、該当する物件が一時的に削除します。

登録ID	文言
10001	この物件は売ります。
10002	この物件は中古車販売です。
10003	中古車
10004	中古車
10005	中古車
10006	中古車
10007	中古車
10008	中古車
10009	中古車
10010	中古車
10011	中古車
10012	中古車
10013	中古車
10014	中古車
10015	中古車
10016	中古車
10017	中古車
10018	中古車
10019	中古車
10020	中古車
10021	中古車
10022	中古車
10023	中古車
10024	中古車
10025	中古車
10026	中古車
10027	中古車
10028	中古車
10029	中古車
10030	中古車
10031	中古車
10032	中古車
10033	中古車
10034	中古車
10035	中古車
10036	中古車
10037	中古車
10038	中古車
10039	中古車
10040	中古車
10041	中古車
10042	中古車
10043	中古車
10044	中古車
10045	中古車
10046	中古車
10047	中古車
10048	中古車
10049	中古車
10050	中古車
10051	中古車
10052	中古車
10053	中古車
10054	中古車
10055	中古車
10056	中古車
10057	中古車
10058	中古車
10059	中古車
10060	中古車
10061	中古車
10062	中古車
10063	中古車
10064	中古車
10065	中古車
10066	中古車
10067	中古車
10068	中古車
10069	中古車
10070	中古車
10071	中古車
10072	中古車
10073	中古車
10074	中古車
10075	中古車
10076	中古車
10077	中古車
10078	中古車
10079	中古車
10080	中古車
10081	中古車
10082	中古車
10083	中古車
10084	中古車
10085	中古車
10086	中古車
10087	中古車
10088	中古車
10089	中古車
10090	中古車
10091	中古車
10092	中古車
10093	中古車
10094	中古車
10095	中古車
10096	中古車
10097	中古車
10098	中古車
10099	中古車
10100	中古車

登録ID: 文言:

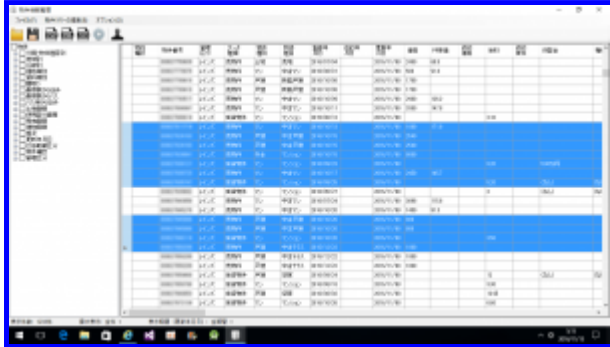
指定物件の削除処理

指定物件の削除処理が完了しました。

2-2-7. 自社管理物件へコピー

レインズ物件（管理区分＝レインズ）を自社管理物件（管理区分＝自社）へコピーします。

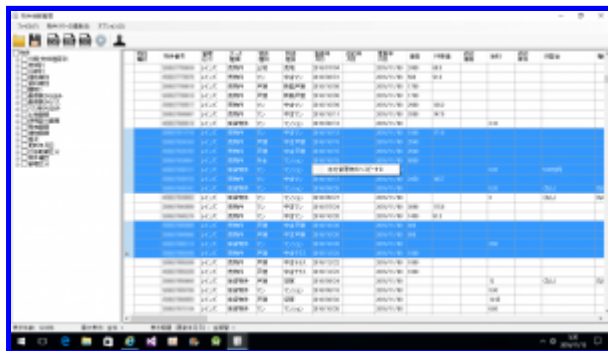
1. コピーしたいレインズ物件を選択します。（※自社物件と成約物件データは選択できません。）



[選択手順は、以下の2通りで行います。]

- ・Ctrlキーを押下しながら、マウス左クリックして1つずつ物件を選択する。
- ・行をマウス左クリックしながら、下にドラッグして複数行を選択する。

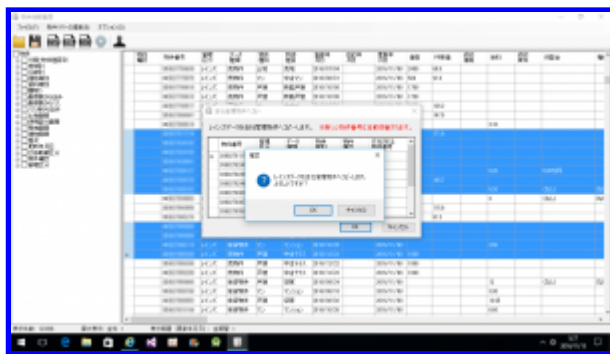
2. 選択行（青色反転状態）の上にマウスカースルを移動させて、マウス右クリックします。



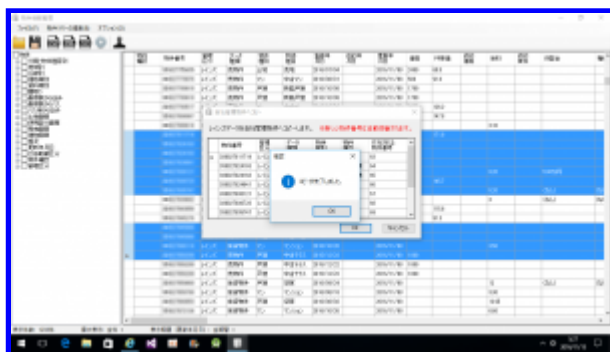
3. ポップアップメニューが表示されるので、「自社管理物件へコピーする」をマウス左クリックします。



4. コピー対象のレインズ物件の一覧が表示されるので、「OK」をクリックします。



5. 「OK」 をクリックします。



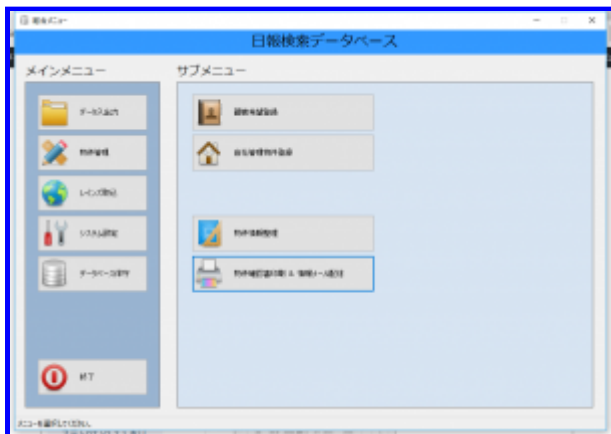
2－3． 物件確認書印刷&情報メール配信

システムに取り込まれている物件データを顧客希望登録で登録した希望内容に従って抽出を行い、顧客毎に希望に該当する物件データを画面に一覧で表示します。

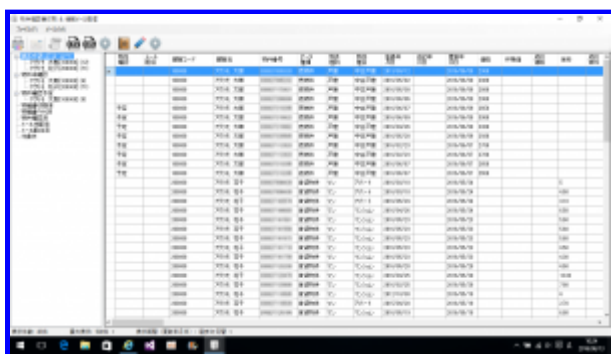
物件確認書の印刷や物件情報メールの配信を一括で行うことができます。

選択した顧客希望データをCSVやXMLファイルへエクスポートすることができます。

1. 物件管理の「物件確認書印刷&情報メール配信」をクリックします。

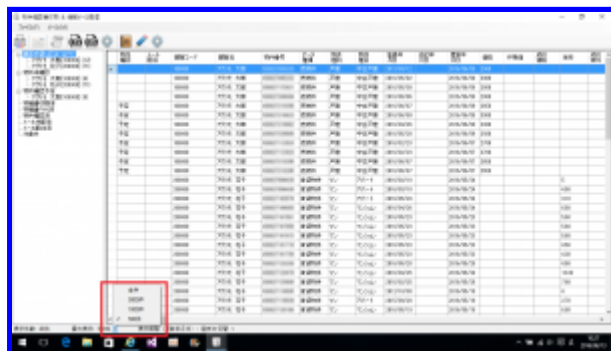


2. 「物件確認書印刷&情報メール配信」画面が表示されます。



＜最大表示件数の変更＞

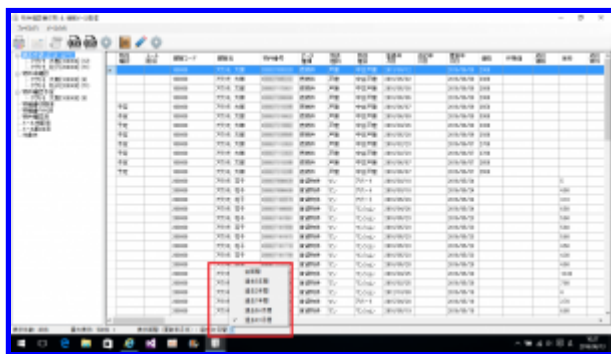
1. 画面下の「最大表示：」のすぐ右の▼をクリックします。



2. 「500件、1000件、5000件、全件」の中から選択します。
3. 一覧表示の最大表示件数が変更されます。

＜表示期間（更新年月日）の変更＞

1. 画面下の「表示期間（更新年月日）：」のすぐ右の▼をクリックします。



2. 「過去3か月間、過去6か月間、過去1年間、過去2年間、過去3年間、全期間」の中から選択します。
3. 一覧表示の表示期間が変更されます。

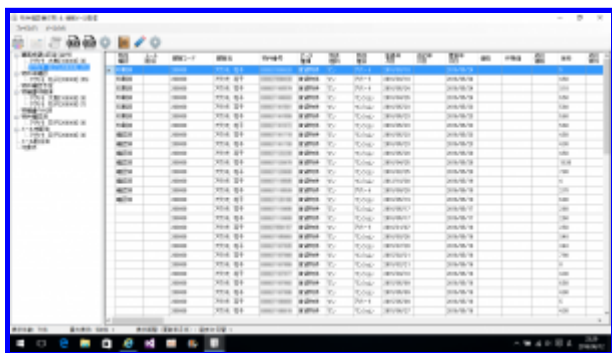
2－3－1．顧客希望リスト

顧客希望登録で入力した希望内容に基づいて抽出された物件データが表示されます。

顧客希望リストは「物件未確認」「物件確認予定」「物確書印刷済」「物確書FAX済」「物件確認済」「メール未配信」「メール配信済」「対象外」の8種と、「顧客希望に該当（全件）」に分かれ、それぞれ顧客毎に分類されます。

顧客名の後ろには、顧客コードを括弧〔 〕で囲んで表示し、その後ろに該当件数を括弧（ ）で囲んで表示します。

顧客名をクリックすると、それに該当する物件が右側に一覧で表示されます。



顧客希望リストを利用する一連の流れは、次のようになります。

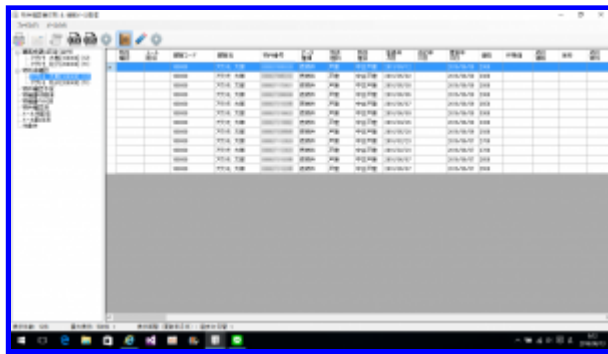
＜処理の流れ＞

- 1) 顧客希望登録をする。
- 2) 物件未確認に該当物件が抽出される。
- 3) 2) の該当物件に対して、物件確認を「予定」にする。
- 4) 物件確認が「予定」のものを抽出し、物件確認書を印刷する。
- 5) 印刷したものを「印刷済」に変更する。
- 6) 物件確認書を各不動産会社宛に F A X する。
- 7) F A X したものを「F A X 済」に変更する。
- 8) F A X した先（不動産会社）に物件確認を入れる。
- 9) 物件確認できたものは「F A X 済」から「確認済」に変更する。
- 10) 物件確認が「確認済」のものに対して、顧客へ物件情報メールを配信する。
- 11) メール配信したものはメール配信が「配信済」に変更される。

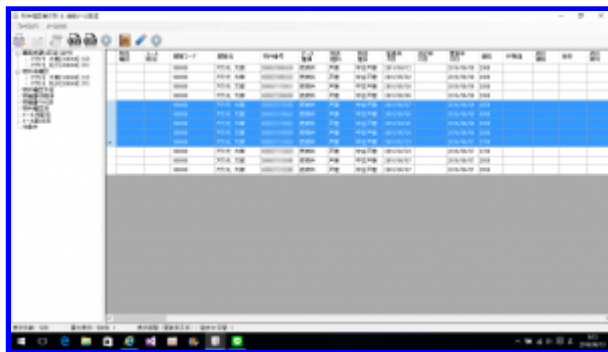
操作例.

＜物件確認を「予定」にする＞

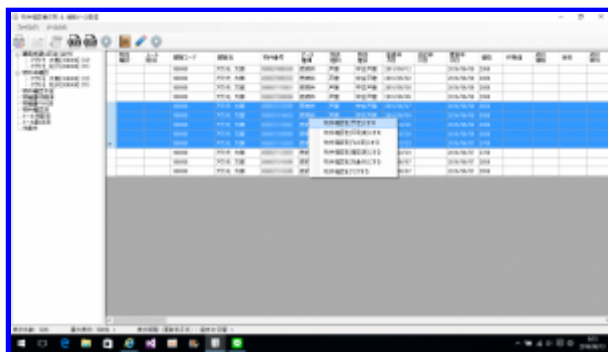
- 1) 物件未確認に表示されている顧客名をクリックします。



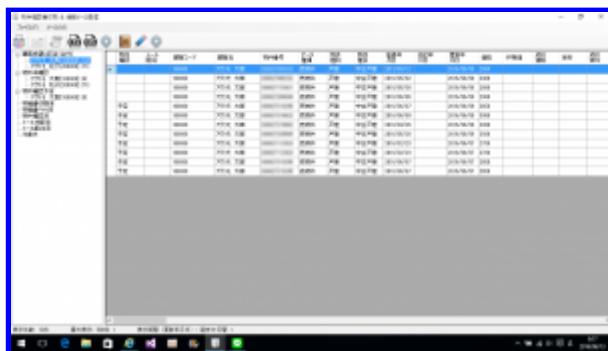
2) 該当物件一覧の中から物件確認予定のものを選択します。



3) 選択した行の上にマウスカursorを置き、右クリックして、選択メニューの中から「物件確認を「予定」にする」を選択します。



4) 該当物件一覧の物件確認が「予定」に変更されます。



その他、

- <物件確認を「印刷済」にする>
- <物件確認を「FAX済」にする>
- <物件確認を「確認済」にする>
- <物件確認を「対象外」にする>
- <物件確認をクリアする>

いずれも、上記の＜物件確認を「予定」にする＞と同じ手順で行います。

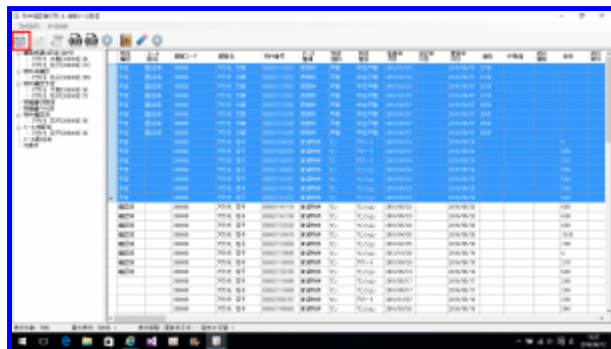
【留意事項】

- 1) 物件確認「対象外」は、あらかじめ物件確認処理から除外しておきたい物件がある場合に設定しておくと便利です。
- 2) 物件確認「印刷済」「FAX済」は、システムでは利用していません。進捗状況確認のための使用を想定しています。

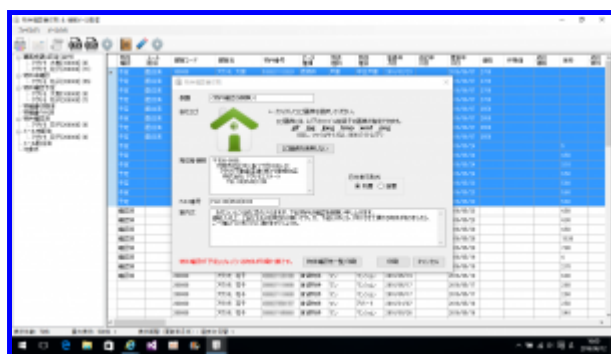
2－3－2．物件確認書の印刷

＜物件確認書の印刷＞

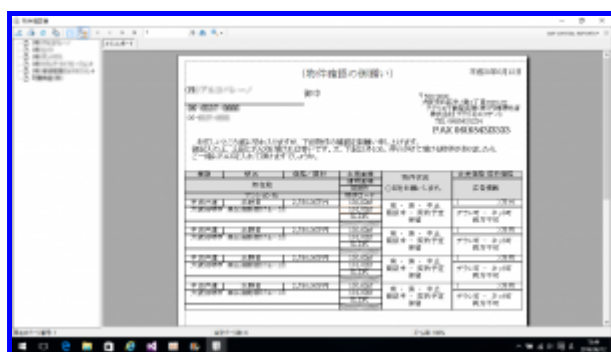
1) 顧客希望リストで、物件確認を「予定」に変更し、プリンタ型アイコンをクリックします。



2) 表題、自社ロゴ、発信者情報、日付表示形式、FAX番号、案内文を変更します。



3) 「印刷」をクリックします。

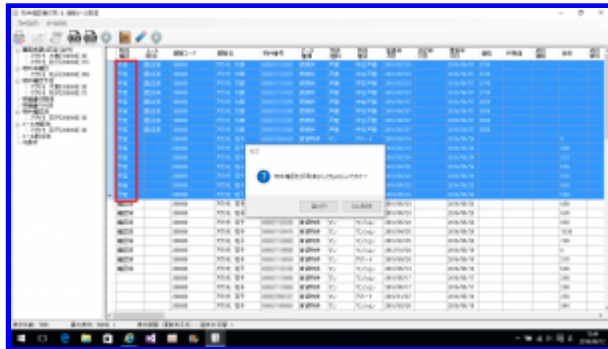


4) 「レポートの印刷」アイコンをクリックし、印刷ダイアログでプリンタを選択し、「印刷」をクリックします。

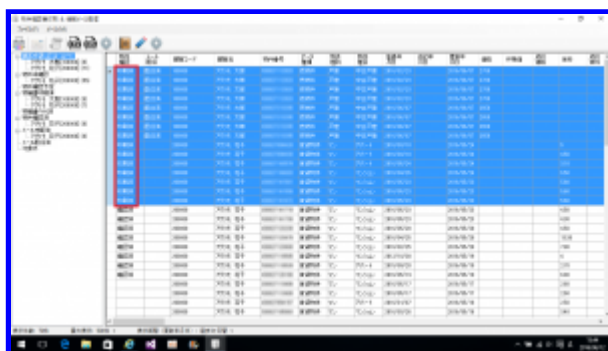


5) 印刷されます。

6) 印刷画面を閉じると、物件確認を「印刷済」にするかどうか聞いてきますので、普通は「はい」を選択します。

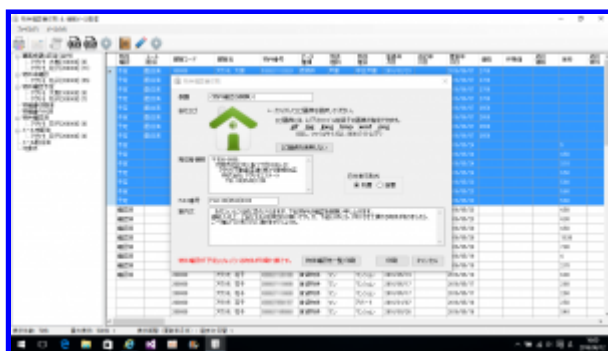


7) 物件確認が「予定」から「印刷済」に変わります。

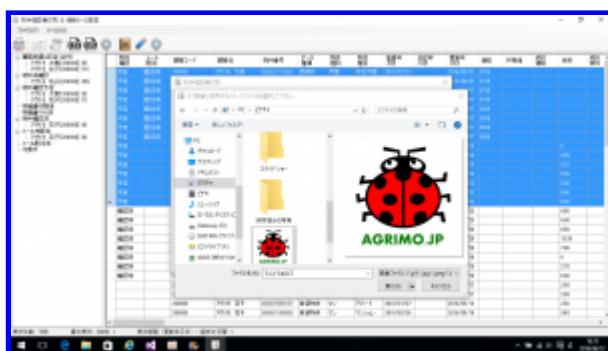


＜会社ロゴを設定＞

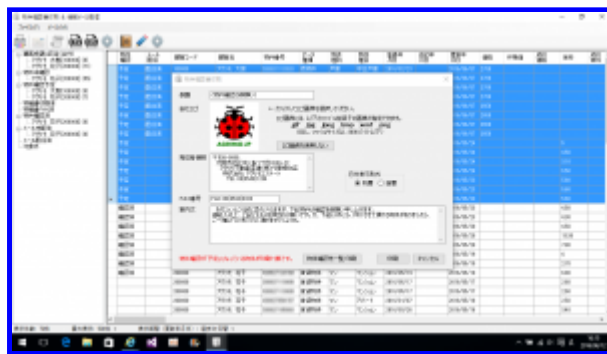
1) 家型画像をクリックします。



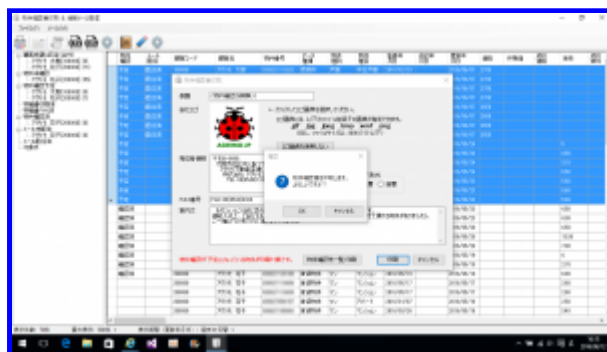
2) ログにする画像を選択し、「開く」をクリックします。



3) 「印刷」をクリックします。



4) 「OK」をクリックします。

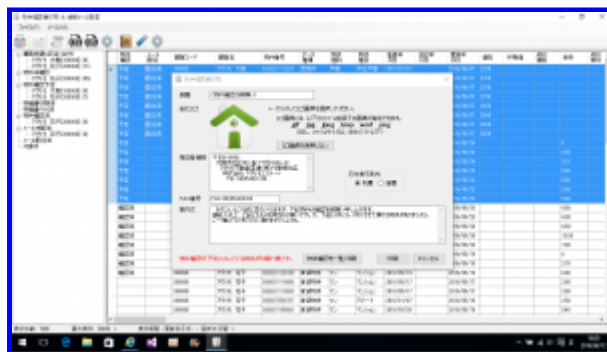


5) ログが印刷されます。

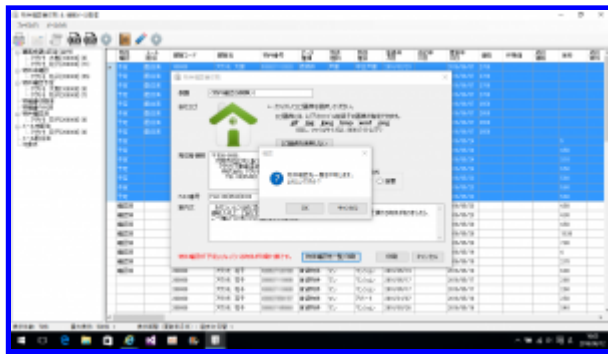


<物件確認先一覧を印刷>

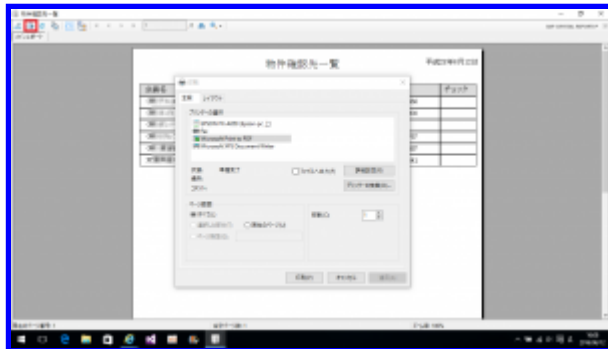
1) 「物件確認先一覧」をクリックします。



2) 「OK」をクリックします。



3) 「レポートの印刷」アイコンをクリックし、印刷ダイアログでプリンタを選択し、「印刷」をクリックします。



4) 印刷されます。

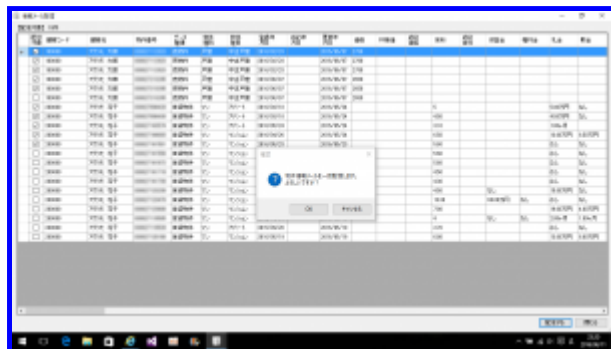
【留意事項】

- 1) 物件確認を「予定」にしている物件が印刷対象です。
- 2) 不動産会社（宛先名）毎にグルーピングされます。
- 3) 印刷プレビュー画面の左側に不動産会社名が一覧で表示されます。不動産会社名をクリックすると、該当する印刷物が右側にプレビューされます。

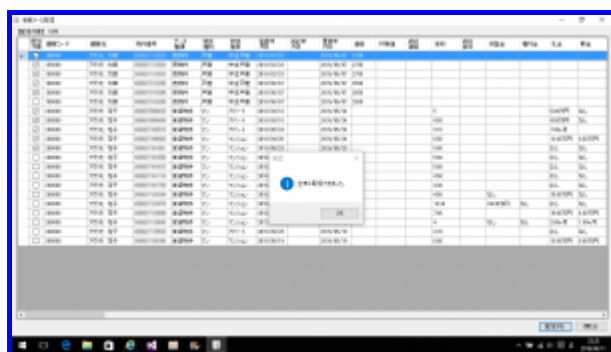
2－3－3．情報メール配信

顧客へ物件情報メールを一括配信します。

- 1) 配信対象のチェック状態を確認し、「配信する」をクリックして、「OK」をクリックします。



- 2) 配信対象にチェックを付けた物件情報が、メール配信されます。



【留意事項】

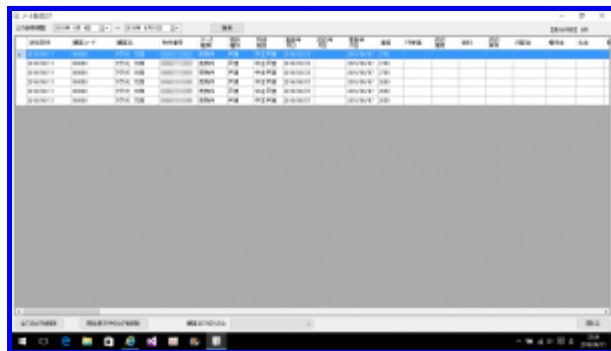
- 1) 物件確認が「確認済」の物件データが配信対象です。
- 2) 物件情報の一顧客に対する配信対象件数は5件です。(メール配信設定で変更可能)

2－3－4．メール配信ログ

顧客へ配信した物件情報メールの配信ログを確認します。

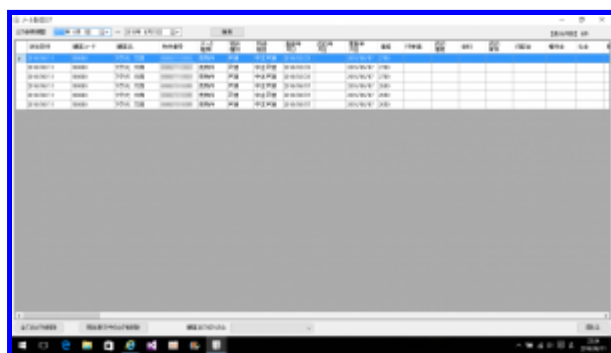
＜ログ参照期間＞

- 1) 初期表示時は、1週間前から今日までのログを表示しています。



The screenshot shows a software window titled 'メール配信ログ' (Email Distribution Log). It contains a table with columns for '配信日時' (Distribution Date/Time), '顧客名' (Customer Name), '物件名' (Property Name), '配信状況' (Distribution Status), and '配信回数' (Distribution Count). The table displays several rows of data, including dates like '2014/10/10' and '2014/10/11', and customer names like '田中太郎' and '山田花子'. The table is filtered to show data from the last 7 days.

- 2) ログ表示期間を表示させたい期間に変更して、「検索」をクリックします。

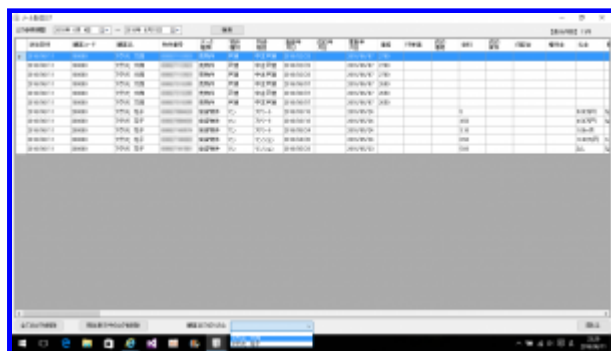


This screenshot is identical to the previous one, showing the same email distribution log data. It represents the state after the user has changed the search period and clicked the '検索' (Search) button.

- 3) ログが新しく設定した期間で再表示されます。

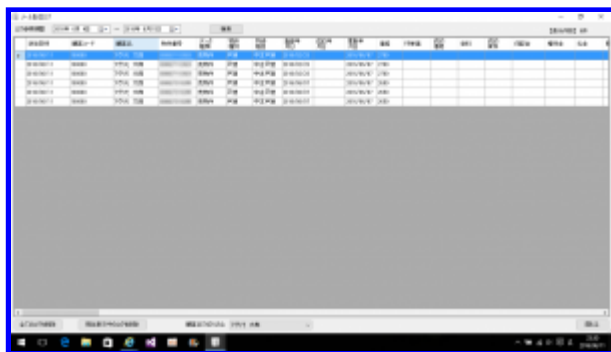
＜顧客名で絞り込む＞

- 1) 「顧客名で絞り込む」のコンボボックスをクリックして、顧客名を選択します。



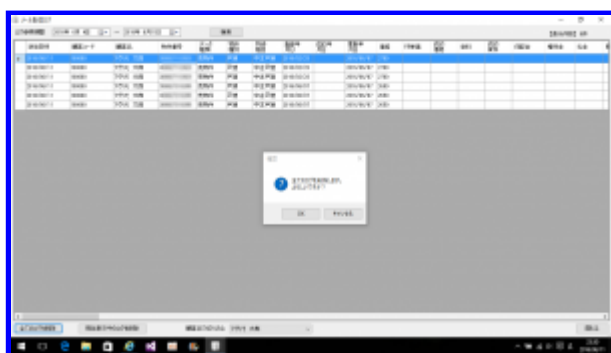
The screenshot shows the email distribution log window with a dropdown menu open under the '顧客名' (Customer Name) column. The dropdown list contains several customer names, and one name is highlighted, indicating it has been selected to filter the log.

- 2) 指定した顧客名で絞り込まれます。

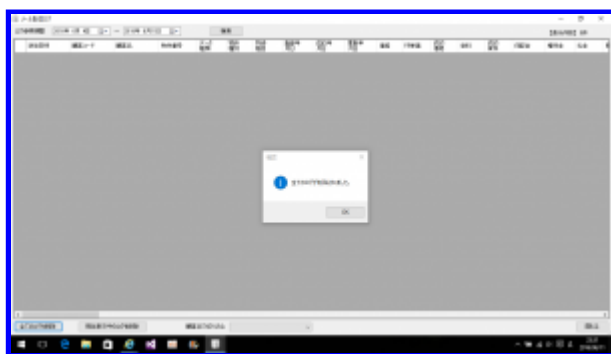


＜全てのログを削除＞

- 1) 「全てのログを削除」をクリックして、「OK」をクリックします。

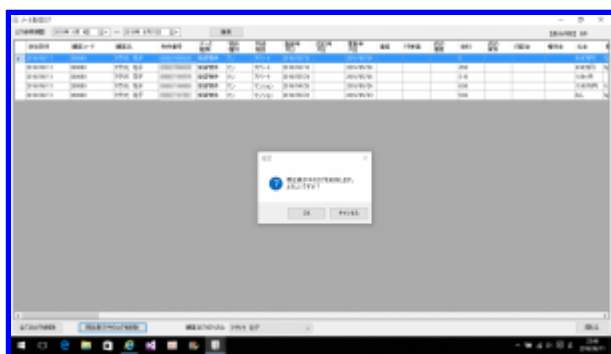


- 2) すべての送信履歴が削除されます。



＜現在表示中のログを削除＞

- 1) 「現在表示中のログを削除」をクリックして、「OK」をクリックします。

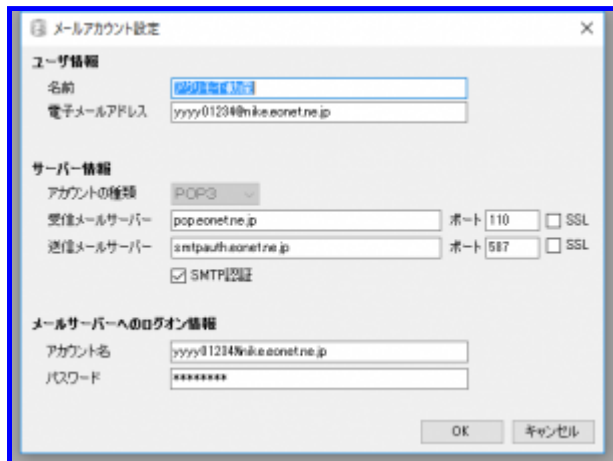


- 2) 現在表示中のログが削除され、残ったログのみ表示されます。

2－3－5．メールアカウント設定

物件情報配信用のメールアカウントの設定を行います。

1) ユーザー情報、サーバー情報、ログオン情報をそれぞれ入力して、「OK」をクリックします。



「ユーザー情報」

- ・ 名前 … 自分（差出人）の名前
- ・ 電子メールアドレス … 自分（差出人）のメールアドレス

「サーバー情報」

- ・ アカウントの種類 … P O P 3 固定
- ・ 受信メールサーバー … 受信メールサーバーのアドレス（プロバイダの設定書で要確認）
- ・ 送信メールサーバー … 受信メールサーバーのアドレス（プロバイダの設定書で要確認）
- ・ ポート … 受信、送信のポート番号（プロバイダの設定書で要確認）
- ・ S S L … S S Lを使用する場合は、チェックを付ける。（Gmailなど）
- ・ S M T P 認証 … S M T P 認証が必要な場合は、チェックを付ける。

「メールサーバーへのログオン情報」

- ・ アカウント名 … メールアカウント（プロバイダの設定書で要確認）
- ・ パスワード … メールパスワード（プロバイダの設定書で要確認）

2) アカウントが登録されます。

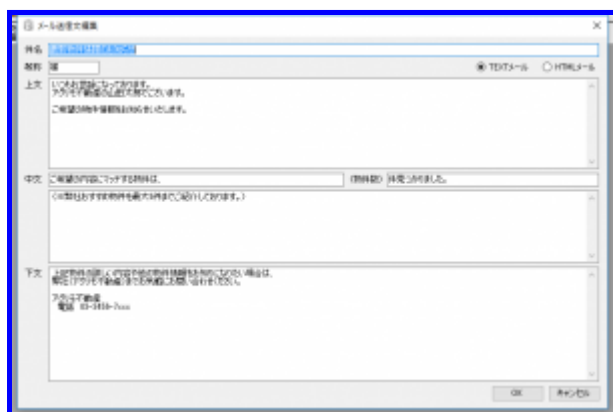
2－3－6．メール送信文編集

顧客へのメール配信に使用する送信文（案内文）を登録します。

1) 「TEXTメール」、または、「HTMLメール」を選択します。

- ・ TEXTメール … メールをテキスト形式で送信します。
- ・ HTMLメール … メールをHTML形式で送信します。(HTMLタグの埋め込み可)

2) 件名、敬称、上文、中文、下文を入力して、「OK」をクリックします。



3) 送信文が更新されます。

【留意事項】

各入力項目の詳細は、以下の通りです。

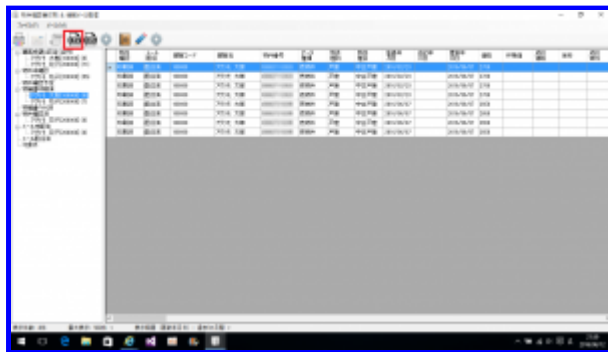
- ・ 件名 … メールの件名
- ・ 敬称 … 顧客名に付ける敬称
- ・ 上文 … メールの最初に付ける鏡文、挨拶文
- ・ 中文 … 物件件数を紹介するための補助文
- ・ 下文 … メールの最後に付ける結びの文章、連絡先など

2-3-7. 選択した顧客希望データのCSVエクスポート

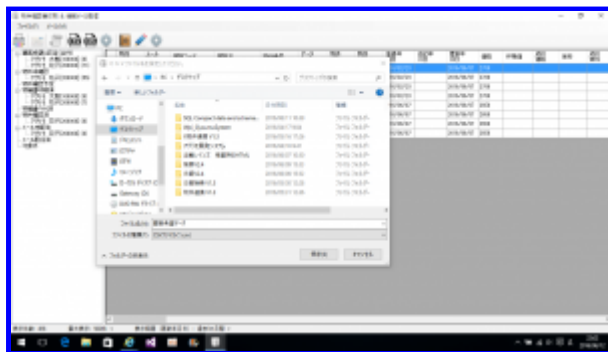
選択した顧客希望データをCSV形式でファイルに出力することができます。

＜選択した顧客希望データのCSVエクスポート＞

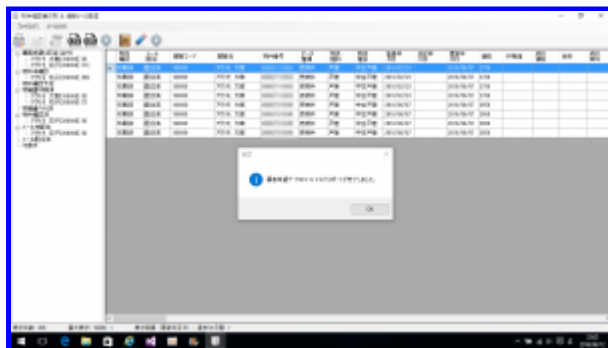
1) 「選択した顧客希望データをCSVにエクスポート」アイコンをクリック（または「ファイル」メニューの「選択した顧客希望データをエクスポート」を選択し、さらに「CSVにエクスポート」を選択）します。



2) 保存先とファイル名を指定して、「保存」をクリックします。



3) CSVファイルに絞り込み物件データがエクスポートされます。

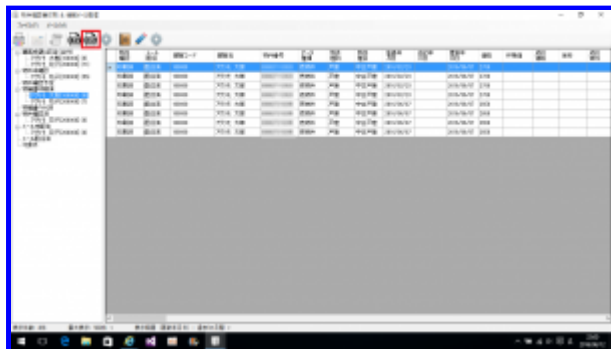


2-3-8. 選択した顧客希望データのXMLエクスポート

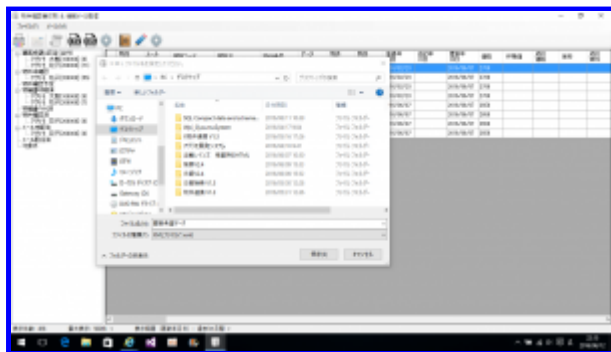
選択した顧客希望データをXML形式でファイルに出力することができます。

＜選択した顧客希望データのXMLエクスポート＞

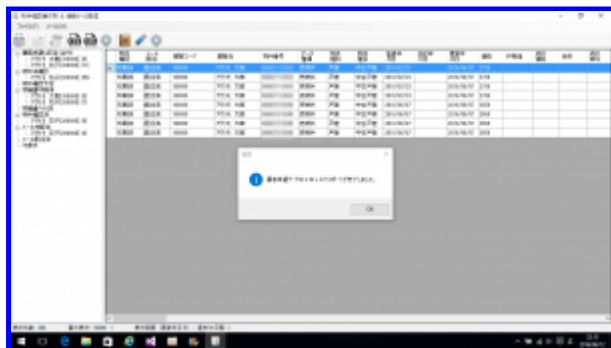
1) 「選択した顧客希望データをXMLにエクスポート」アイコンをクリック（または「ファイル」メニューの「選択した顧客希望データをエクスポート」を選択し、さらに「XMLにエクスポート」を選択）します。



2) 保存先とファイル名を指定して、「保存」をクリックします。



3) XMLファイルに選択した顧客希望データがエクスポートされます。



2－4－1．自社管理物件を登録

自社管理物件の登録を行います。

- 1．物件管理の「自社管理物件登録」をクリックします。



- 2．自社管理物件登録画面が表示されます。

＜新規登録＞

- 1) 「新規」をクリックします。(画面がクリアされ、物件番号が自動で採番されます。)



- 2) データ種類、物件種別、物件種目を入力します。(他の項目が入力できる状態になります。)



- 3) 必要な物件情報を入力します。

＜基本情報＞

[illegible]

＜土地建物＞

＜所在地・沿線＞

[illegible]

＜設備・管理費等＞

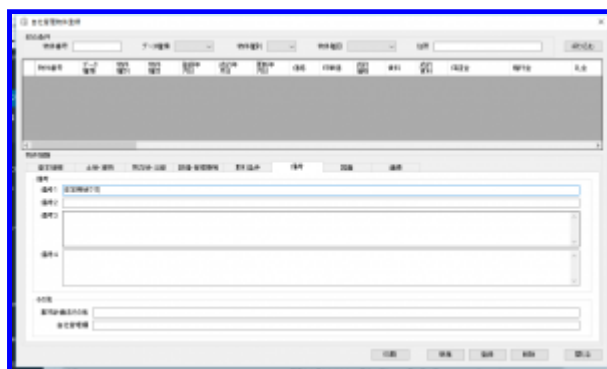
[illegible]



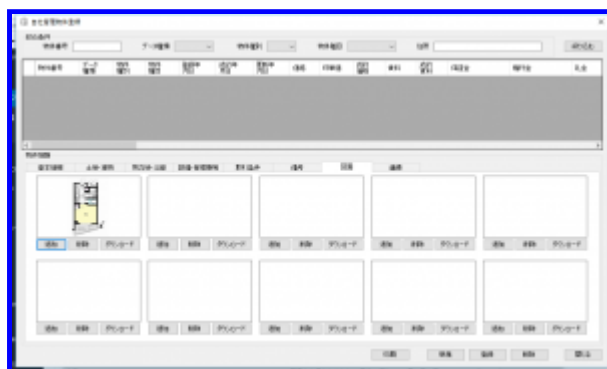
<取引条件>



<備考>



<図面>



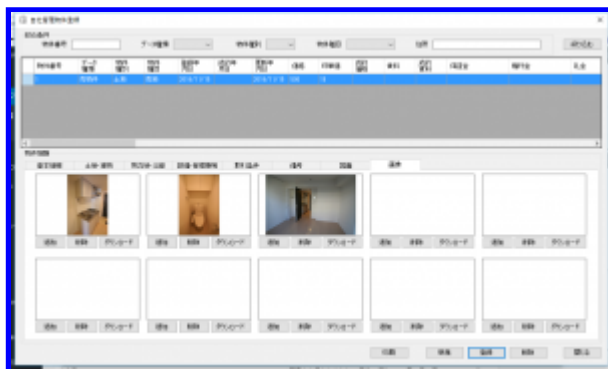
<画像>



4) 「登録」をクリックして、「OK」をクリックします。

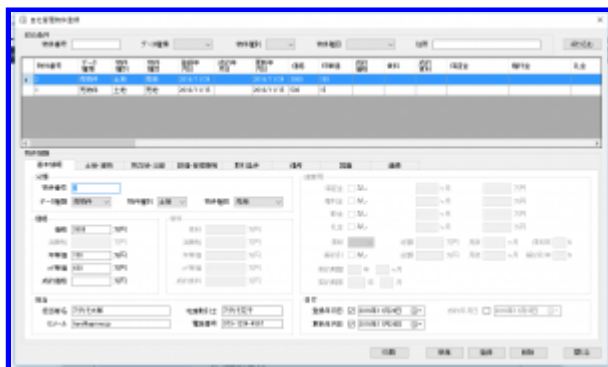


5) 登録されます。



<削除>

1) 一覧の中から、削除対象を選択します。



2) 「削除」をクリックして、「OK」をクリックします。



3) 削除されます。



＜絞り込み＞

1) 絞込条件を設定して、「絞り込む」をクリックします。



2) 顧客が絞り込まれます。



【留意事項】

1) 絞込条件の検索キーワードは、以下のように一致した場合に検索されます。

- ・ 物件番号… 完全に一致しているもの
- ・ データ種類 … 完全に一致しているもの
- ・ 物件種別 … 完全に一致しているもの
- ・ 物件種目 … 完全に一致しているもの
- ・ 住所 … 部分的に一致しているもの（含まれるもの）

2-4-2. 設備条件入力

設備条件の入力を行います。

1. 「物件情報」の「設備・管理費等」タブをクリックします。



2. 「設備条件入力」をクリックします。



3. 該当する設備にチェックを付けて行きます。



4. チェックを付け終わったら、「設定」をクリックします。



5. チェックを付けた設備が入力欄に反映されます。

6. 入力済み設備条件を一括クリアしたい場合は、「全てのチェックをクリアする」をクリックするとクリアできます。

[illegible]

2－4－3．図面の登録

物件図面、物件概要書に印刷する図面を登録します。（最大10個まで）

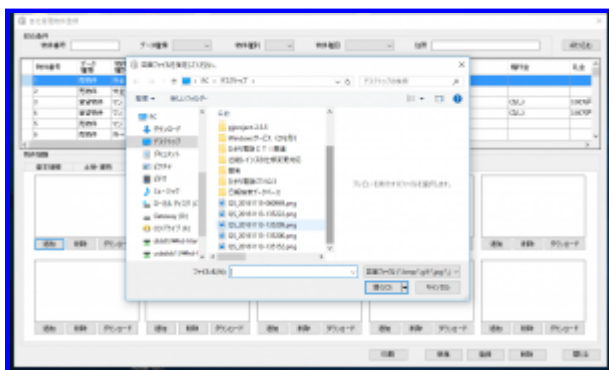
図面として登録可能なファイル形式は、BMP、GIF、JPG、JPEG、PNG、TIFF、TIF、PDFです。

<図面追加>

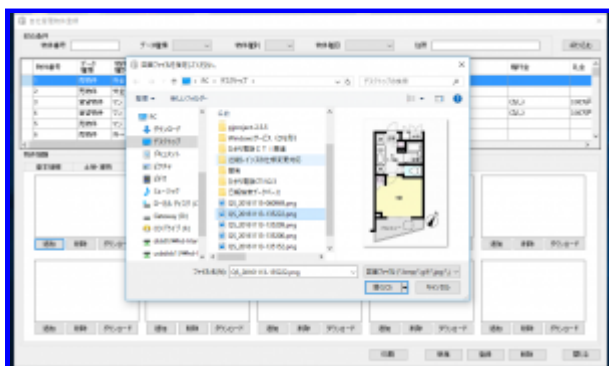
1. 「物件情報」の「図面」タブをクリックします。



2. 「追加」をクリックします。



3. 図面に追加する画像（またはPDF）を選択して、「開く」をクリックします。



4. 選択した画像（またはPDF）が仮登録されます。



5. 「登録」をクリックします。

<図面画像の拡大表示>

1. 画像をクリックします。
2. 画像が拡大表示されます。(PDFの場合は、PDFビューワーで表示されます。)



<図面削除>

1. 削除したい図面の下の「削除」をクリックします。



2. 「OK」をクリックします。
3. 図面が削除されます。

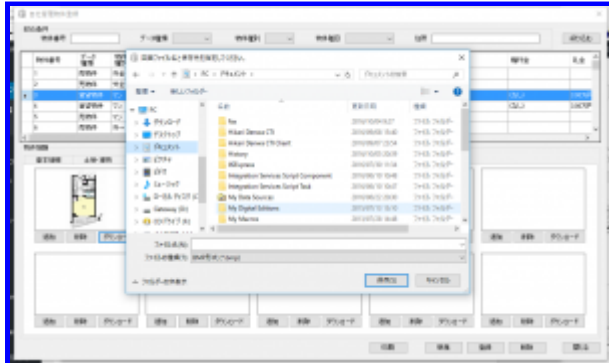


<図面ダウンロード>

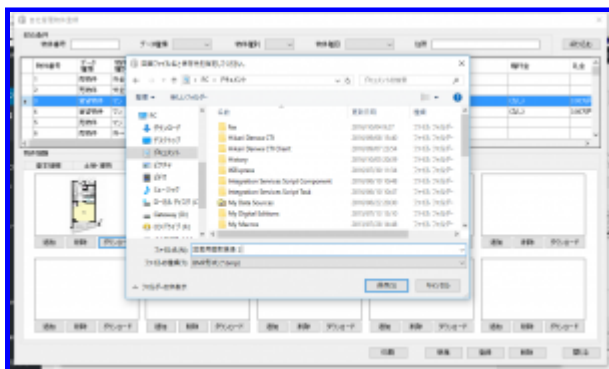
1. ダウンロードしたい図面の下の「ダウンロード」をクリックします。



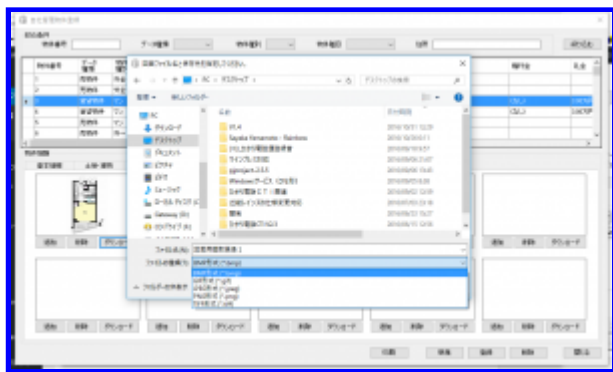
2. 「OK」をクリックします。



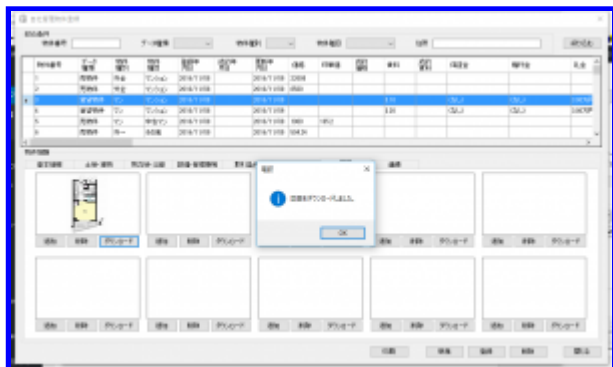
3. 保存先を選択し、ファイル名を入力します。



4. 保存するファイル形式を選択します。



5. 「保存」をクリックします。



6. 指定した場所に図面ファイルが保存されます。「OK」をクリックします。

2-4-4. 画像の登録

物件図面、物件概要書に印刷する画像（建物概観、付帯設備等の写真、他）を登録します。（最大10個まで）

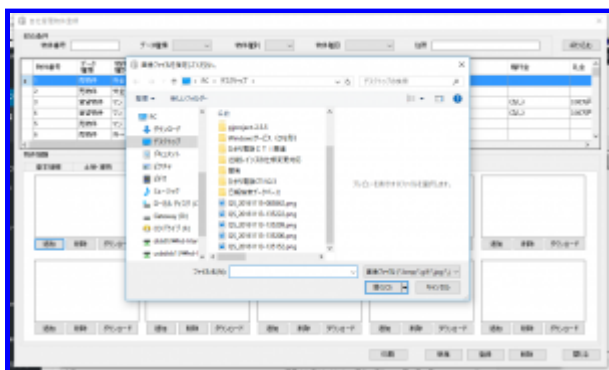
画像として登録可能なファイル形式は、BMP、GIF、JPG、JPEG、PNG、TIFF、TIF です。

＜画像追加＞

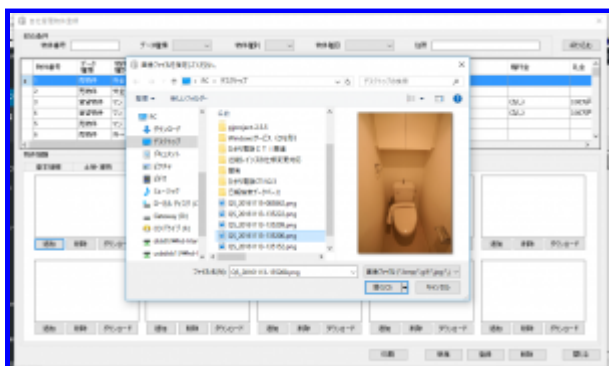
1. 「物件情報」の「画像」タブをクリックします。



2. 「追加」をクリックします。



3. 追加する画像を選択して、「開く」をクリックします。



4. 選択した画像が仮登録されます。

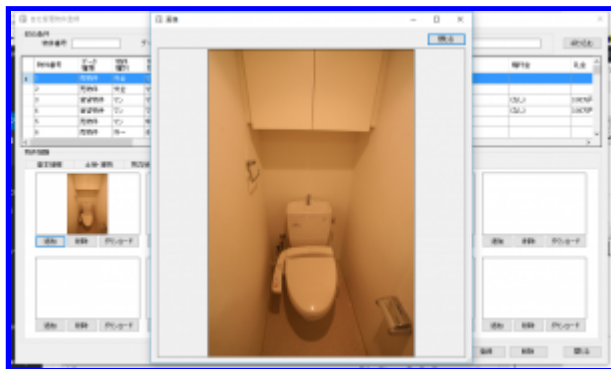


5. 「登録」をクリックします。

<画像の拡大表示>

1. 画像をクリックします。

2. 画像が拡大表示されます。



<画像削除>

1. 削除したい画像の下の「削除」をクリックします。



2. 「OK」をクリックします。

3. 画像が削除されます。

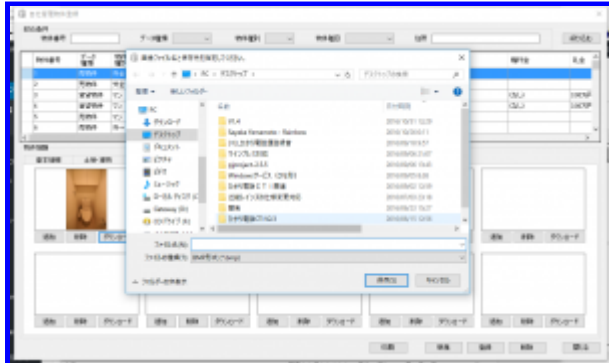


＜画像ダウンロード＞

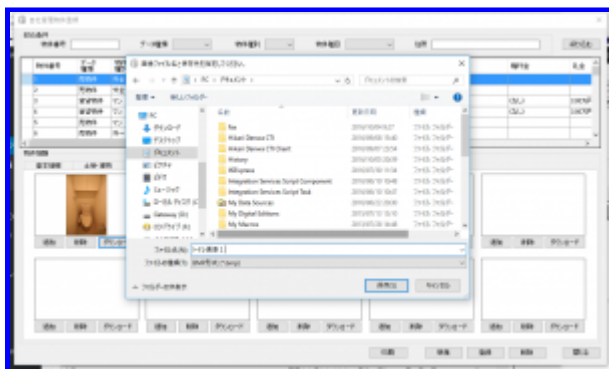
1. ダウンロードしたい画像の下の「ダウンロード」をクリックします。



2. 「OK」をクリックします。



3. 保存先を選択し、ファイル名を入力します。



4. 保存するファイル形式を選択します。

2-4-5. 物件図面・概要書印刷

物件図面、物件概要書の印刷を行います。

1. 印刷対象の物件を表示させます。



2. 「印刷」をクリックします。



3. 帳票に印刷される画像を確認し、必要があれば変更します。

4. 帳票に印字される項目を必要があれば正しい内容に変更します。(次回は保存された内容を表示します。)

5. 「物件概要書 印刷」または「物件図面 印刷」をクリックします。



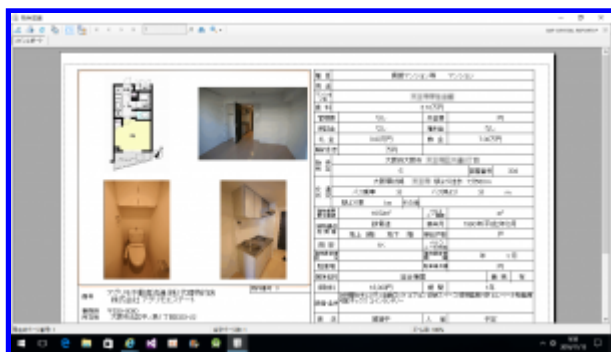
6. 「OK」をクリックします。

7. 印刷プレビュー画面が表示されます。

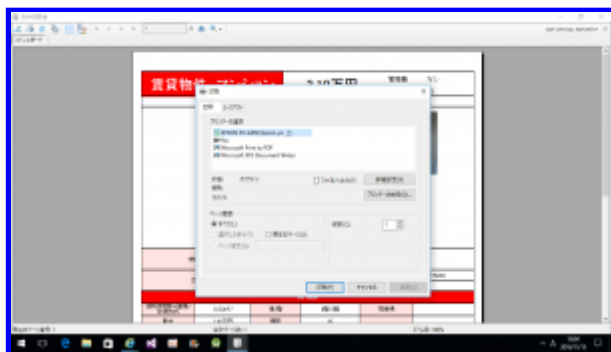
＜物件概要書＞



＜物件図面＞



8. 「レポートの印刷」アイコンをクリックし、印刷ダイアログでプリンタを選択し、「印刷」をクリックします。



9. 印刷されます。

【留意事項】

帳票に印刷される画像のレイアウトは、枚数によって次の通りとなります。

＜1枚の時＞



＜2枚の時＞

3-1. 日報データ自動取得システムDT 起動

日報データ自動取得システムDTを起動します。

1. レインズ取込の「日報データ自動取得システムDT」をクリックします。



2. 日報データ自動取得システムDTが起動します。



【留意事項】

- 1) 日報データ自動取得システムDTがインストールされ、初期設定が完了している必要があります。
- 2) 日報データ自動取得システムDTを起動時に以下の設定の書き換えを行っています。(※日報データ自動取得システムDTが終了して戻ってくると、元の設定に書き戻されます。)

- ・ ログファイルの出力先パス名
- ・ CSV1の出力先パス名（一覧データ）
- ・ CSV2の出力先パス名（物件詳細データ）
- ・ CSV3の出力先パス名（旧近畿レインズデータ）
- ・ CSV4の出力先パス名（物件詳細データ：全項目）

※全てドキュメントフォルダの日報検索データベースフォルダ内へ保存されるように設定されます。

3-2. 検索データ自動取得システムDT 起動

検索データ自動取得システムDTを起動します。

1. レインズ取込の「検索データ自動取得システムDT」をクリックします。



2. 検索データ自動取得システムDTが起動します。



【留意事項】

- 1) 検索データ自動取得システムDTがインストールされ、初期設定が完了している必要があります。
- 2) 検索データ自動取得システムDTを起動時に以下の設定の書き換えを行っています。(※検索データ自動取得システムDTが終了して戻ってくると、元の設定に書き戻されます。)

- ・ ログファイルの出力先パス名
- ・ CSV1の出力先パス名（一覧データ）
- ・ CSV2の出力先パス名（物件詳細データ）
- ・ CSV3の出力先パス名（旧近畿レインズデータ）
- ・ CSV4の出力先パス名（物件詳細データ：全項目）

※全てドキュメントフォルダの日報検索データベースフォルダ内へ保存されるように設定されます。

3-3. タイマー起動

日報（検索）データ自動取得システムDTを時間・曜日指定で自動起動します。

1. レインズ取込の「日報（検索）データ自動取得システムDT」のそれぞれ右横のピンク色枠内でタイマー起動の設定を行います。



【設定手順】

1) 「タイマー起動する」にチェックを付けます。

<input checked="" type="checkbox"/> タイマー起動する	起動時間	00時00分	登録			
<input type="checkbox"/> 月	<input type="checkbox"/> 火	<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 木	<input type="checkbox"/> 金	<input type="checkbox"/> 土	<input type="checkbox"/> 日

2) 起動時間をセットします。

<input checked="" type="checkbox"/> タイマー起動する	起動時間	09時00分	登録			
<input type="checkbox"/> 月	<input type="checkbox"/> 火	<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 木	<input type="checkbox"/> 金	<input type="checkbox"/> 土	<input type="checkbox"/> 日

3) 曜日をチェックします。

<input checked="" type="checkbox"/> タイマー起動する	起動時間	09時00分	登録			
<input checked="" type="checkbox"/> 月	<input checked="" type="checkbox"/> 火	<input checked="" type="checkbox"/> 水	<input checked="" type="checkbox"/> 木	<input checked="" type="checkbox"/> 金	<input checked="" type="checkbox"/> 土	<input type="checkbox"/> 日

4) 「登録」をクリックします。

【留意事項】

1) 日報（検索）データ自動取得システムDTがインストールされ、初期設定が完了している必要があります。

2) 日報（検索）データ自動取得システムDTを起動時に以下の設定の書き換えを行っています。（※日報（検索）データ自動取得システムDTが終了して戻ってくると、元の設定に書き戻されます。）

- ・ ログファイルの出力先パス名
- ・ CSV1の出力先パス名（一覧データ）
- ・ CSV2の出力先パス名（物件詳細データ）

- ・ CSV3の出力先パス名（旧近畿レインズデータ）
- ・ CSV4の出力先パス名（物件詳細データ：全項目）

※全てドキュメントフォルダの日報検索データベースフォルダ内へ保存されるように設定されます。

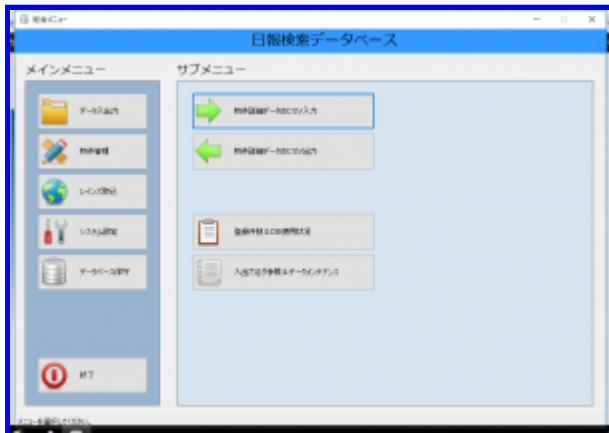
- ・ 自動実行機能を「使用する」に設定されます。



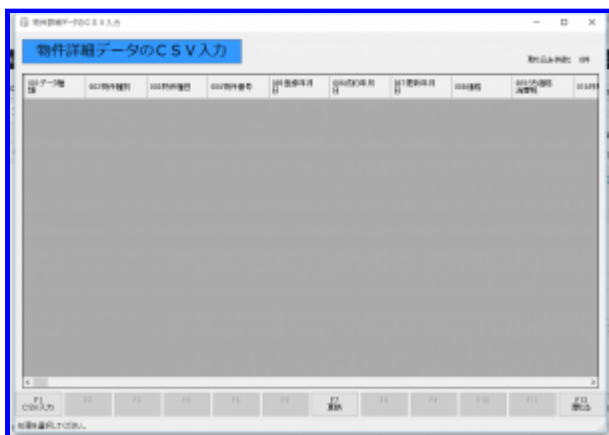
4－1．物件詳細データの入力

物件詳細データをC S Vファイルから取り込みます。

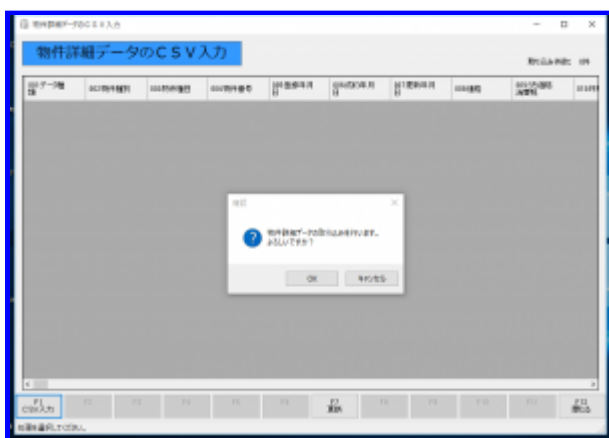
- 1．データ入出力の「物件詳細データのC S V入力」をクリックします。



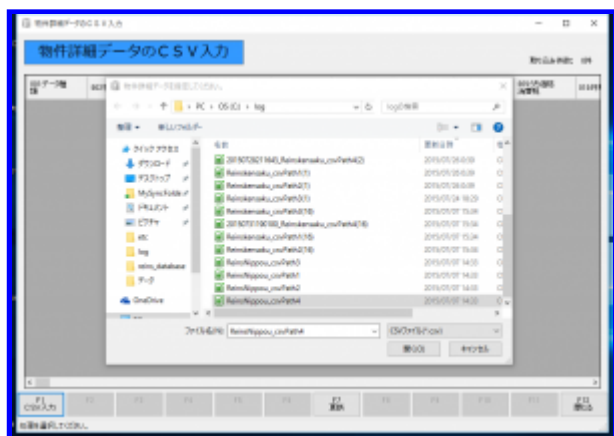
- 2．「C S V入力」をクリックします。



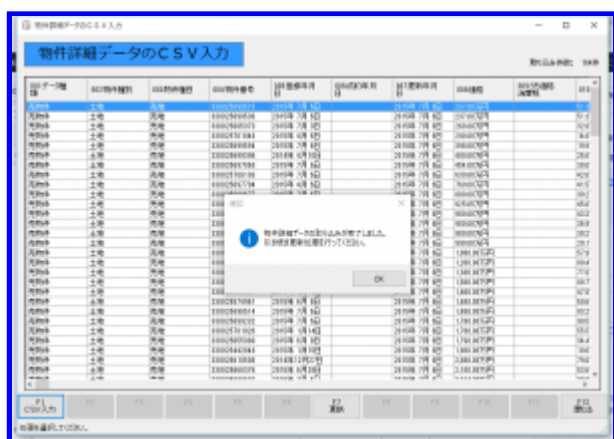
- 3．「OK」をクリックします。



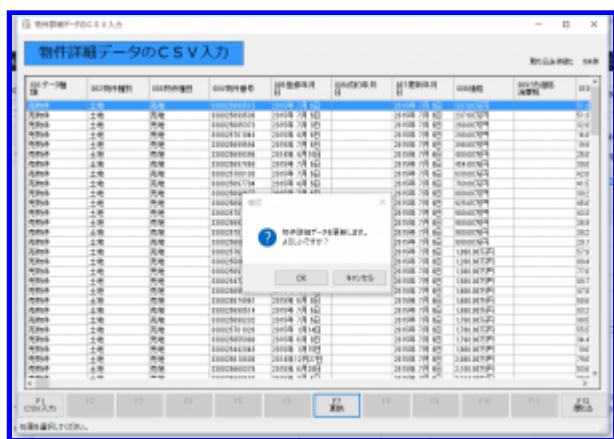
- 4．取り込むC S Vファイルを指定して、「開く」をクリックします。



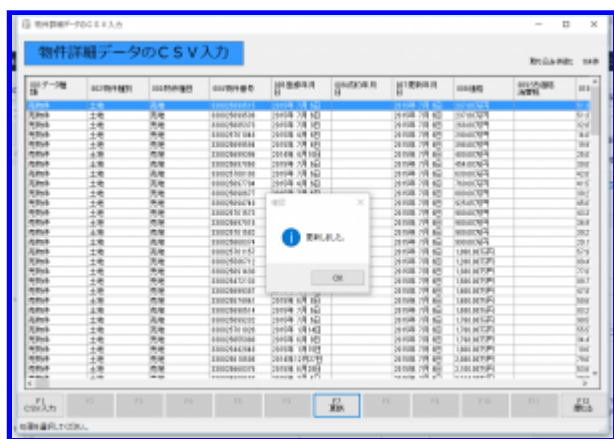
5. 取り込みが完了したら、「OK」をクリックします。仮取り込みの内容が一覧表示されます。



6. 引き続いて、「更新」クリックし、「OK」をクリックします。



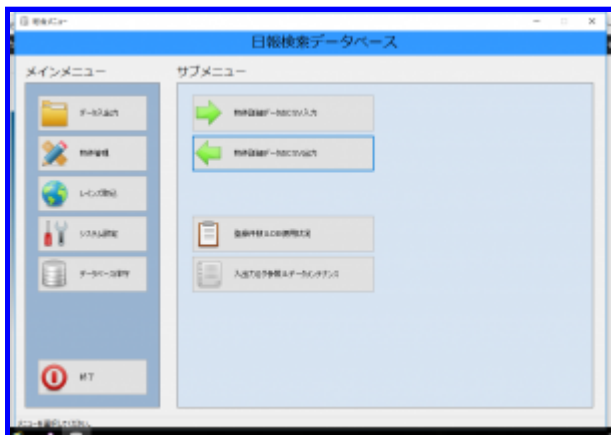
7. 更新が完了したら、「OK」をクリックします。



4－2．物件詳細データの出力

物件詳細データをCSVファイルに出力します。

1. データ入出力の「物件詳細データのCSV出力」をクリックします。



2. 抽出条件を設定します。（※詳細は、2-2-1項を参照）



3. 書き出し項目を設定します。（※詳細は、2-2-2項を参照）



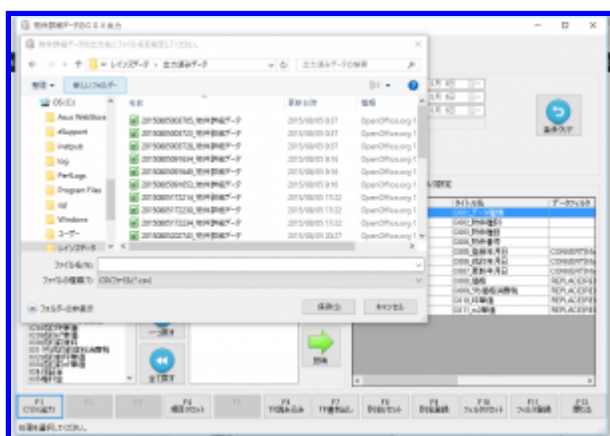
4. 「反映」をクリックして、「タイトル名&データフィルタ設定」欄に書き出し項目の内容を反映します。



5. 必要があれば、タイトル名を編集します。(※詳細は、2-2-3項を参照)
6. 必要があれば、データフィルタを設定します。(※詳細は、2-2-3項を参照)
7. 「CSV出力」をクリックします。



8. 出力ファイルの保存先とファイル名を指定します。



9. 「保存」をクリックします。

4－2－1．抽出条件

1．物件種目で対象の種目をクリックします。（※複数選択可能）



2．登録年月日を条件に加える場合は、そのタイトルの前にチェックを付け、対象期間を入力します。（※成約年月日、更新年月日についても同様です。）



3．物件番号を条件に加える場合は、そのタイトルの前にチェックを付け、対象番号範囲を入力します。



4．最近更新されたデータを抽出したい場合は、「更新年月日が 日以内のものを抽出」にチェックを付け、その日数を入力します。



5. 最近DBへ入力されたデータを抽出したい場合は、「DB更新年日が 1 日以内のもの」を抽出」にチェックを付け、その日数を入力します。



6. 既にCSV出力したデータを除いて出力したい場合は、「既に出出力したデータを除く」にチェックを付けます。



7. 条件をクリアする場合は、画面右の「条件クリア」アイコンをクリックします。

4－2－2．書き出し項目設定

項目一覧の中から出力したい項目を選択して、書き出し項目側へ移動させます。また、書き出し項目の並び順を変更します。

1. 項目一覧の中から書き出す項目を1つ選択します。



2. 「1つ右へ」のアイコンをクリックします。（※左側で選択した項目が書き出し項目側へ移動します。）



3. さらに数回「1つ右へ」のアイコンをクリックします。（※続きの項目が書き出し項目側へ移動します。）



4. 「全て右へ」のアイコンをクリックします。（※残りの項目が全て書き出し項目側へ移動します。）



5. 書き出し項目の一覧から1つ項目を選択します。



6. 「1つ戻す」のアイコンをクリックします。(※選択した項目が項目一覧側に戻ります。)



7. 「全て戻す」のアイコンをクリックします。(※残りの項目が全て項目一覧側に戻ります。)



8. 書き出し項目の並び順を変更する場合は、まず、移動させたい項目をクリックします。



9. 「上へ」のアイコンをクリックします。（※選択した項目が1つ上に移動します。）



10. さらに数回、「上へ」のアイコンをクリックします。（※選択した項目がクリックした回数分、上に移動します。）



11. 今度は、「下へ」のアイコンをクリックします。（※選択した項目が1つ下に移動します。）



12. 8～11の操作を基本に、書き出し項目の並び順を変更します。

4-2-3. タイトル名&データフィルタ設定

書き出し項目の設定が終わったら、次にCSVデータに書き出す際の項目のタイトル名（別名）を決めます。また、データを加工して出力するためのデータフィルタの設定も行います。

1. まず、書き出し項目の設定を行います。



2. 「反映」アイコンをクリックします。



3. 変更するタイトル名のある行を選択してから、再度、タイトル名をクリックします。（※タイトル名が編集状態に入ります。）



4. タイトル名を変更します。（※編集モードから抜けるには、Enterキーを押下するか、違う行をクリックします。）



5. 変更したタイトル名を登録するには、別名登録を行います。（※詳細は、2-2-6項を参照）

次にデータフィルタの設定をします。データフィルタは少々難しいので、用意してあるテンプレートファイルを読み込ませてご使用下さい。（※詳細は、2-2-5項を参照）もちろん、変更を自分で行うこともできますので、以下は、理解されている方だけ行って下さい。

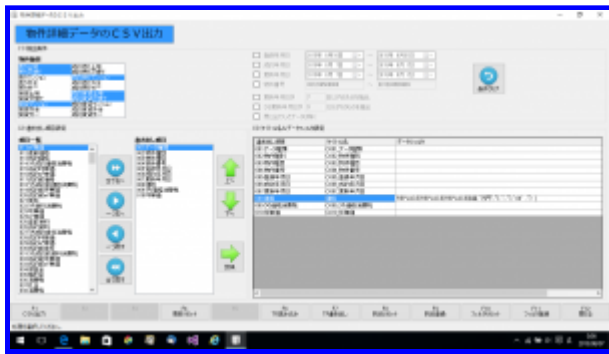
6. データフィルタを追加したい行を選択します。



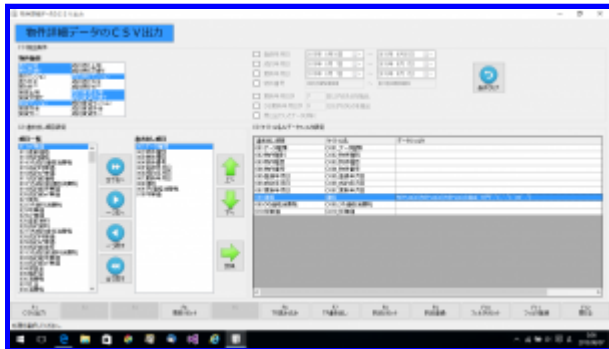
7. 再度、データフィルタをクリックします。（※データフィルタが編集状態に入ります。）



8. 関数名を入力します。（例．REPLACE(REPLACE(REPLACE(\$\$\$,'万円',''),',',''),'.00',')')）



9. 関数名の入力が終わったら、Enterキーを押下するか、違う行をクリックして、編集モードから抜けます。



10. データフィルタを登録するには、フィルタ登録を行います。（※詳細は、2-2-7項を参照）

4－2－4．項目リセット

書き出し項目を未選択の状態にリセットします。並び順もリセットされます。

1. 「項目リセット」をクリックします。



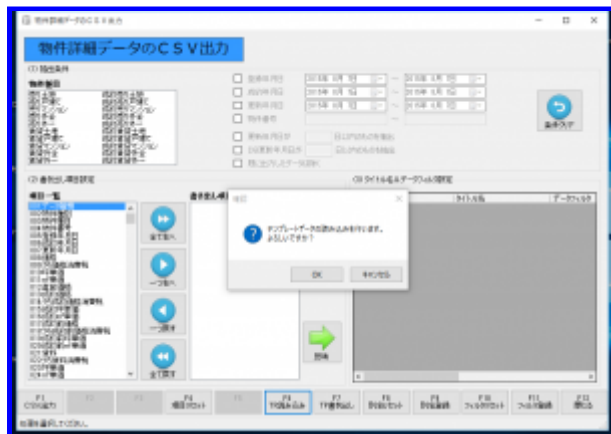
2. 「OK」をクリックします。
3. 書き出し項目が未選択の状態に戻ります。



4-2-5. TP読み込み、TP書き出し

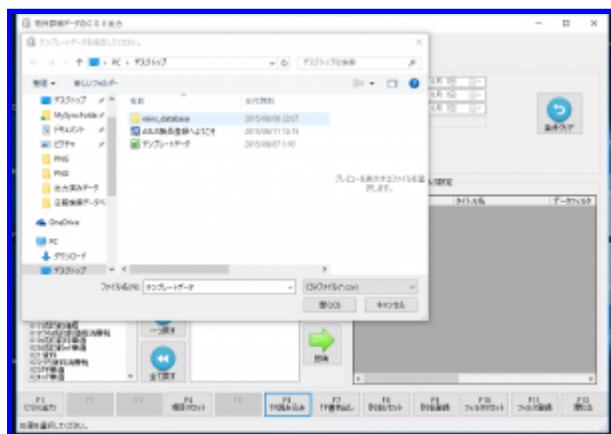
物件詳細データのCSV出力画面の抽出条件や書き出し項目の並び順、タイトル名の別名、データフィルタ設定をテンプレートファイルとして保存、または、テンプレートファイルから読み込むことができます。

1. 「TP読み込み」をクリックします。

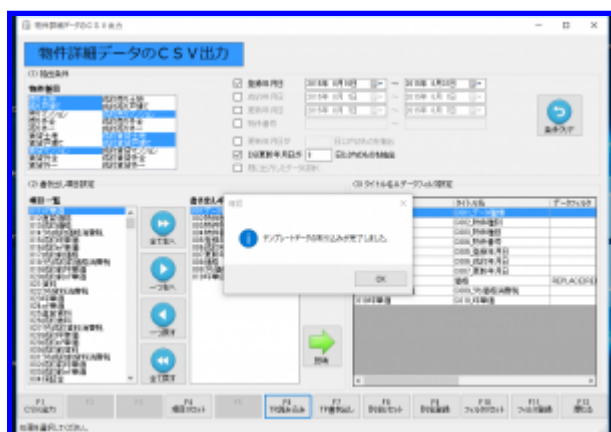


2. 「OK」をクリックします。

3. 読み込むテンプレートファイルを選択して、「開く」をクリックします。



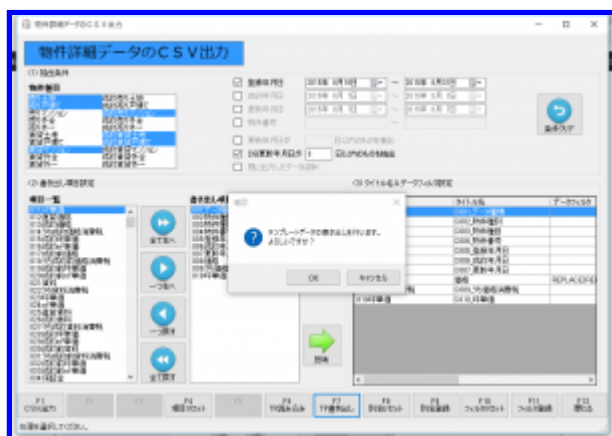
4. テンプレートファイルの内容が復元されます。



5. 「OK」をクリックします。

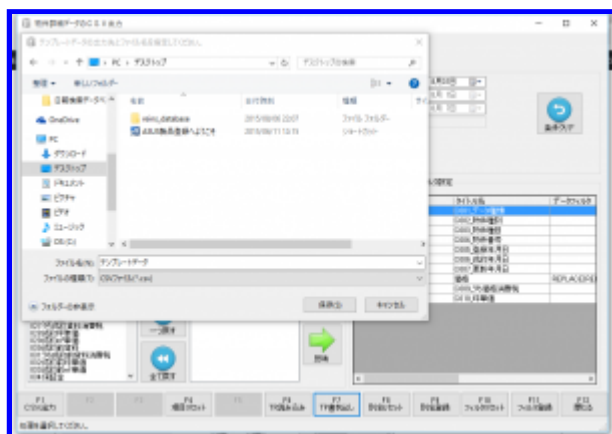
テンプレートファイルの書き出しは、次のように行います。

6. 「TP書き出し」をクリックします。

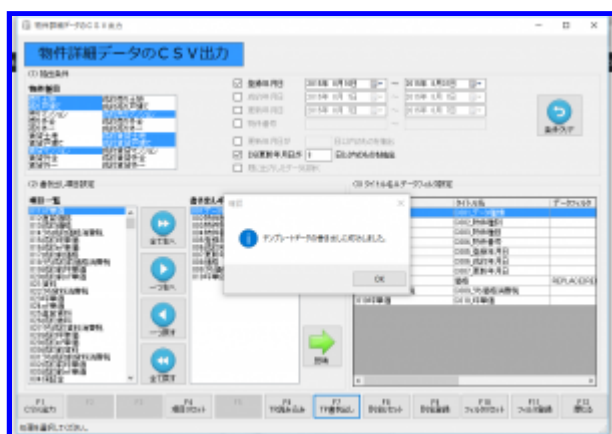


7. 「OK」をクリックします。

8. テンプレートファイルの保存先とファイル名を指定し、「保存」をクリックします。



9. テンプレートファイルが保存されます。



10. 「OK」をクリックします。

4-2-6. 別名登録、別名リセット

「タイトル名&データフィルタ設定」で入力したタイトル名の別名をDBへ登録します。もしくは、初期状態にリセットします。

1. 「別名登録」をクリックします。



2. 「OK」をクリックします。
3. 別名がDBに登録されます。

タイトル名の別名を初期状態（インストール直後の状態）に戻すには、以下の通りに行います。

4. 「別名リセット」をクリックします。



5. 「OK」をクリックします。
6. 別名がリセットされます。

【留意事項】

別名の先頭に「%001%」のように%で囲んだ文字列を付加する場合、CSVやXML出力時のタイトル名には、この部分は出力されません。

例. %001%データ種類

4-2-7. フィルタ登録、フィルタリセット

「タイトル名&データフィルタ設定」で入力したデータフィルタをDBへ登録します。もしくは、初期状態にリセットします。

1. 「フィルタ登録」をクリックします。



2. 「OK」をクリックします。

3. データフィルタがDBに登録されます。

データフィルタを初期状態（インストール直後の状態）に戻すには、以下の通りに行います。

4. 「フィルタリセット」をクリックします。



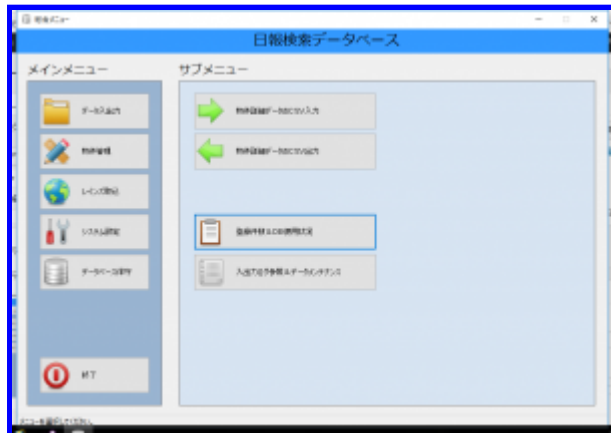
5. 「OK」をクリックします。

6. データフィルタがリセットされます。

4－3．登録件数&DB使用状況

物件詳細データの物件種目別登録件数、及び、DB使用状況を確認します。

- 1．システム設定の「登録件数&DB使用状況」をクリックします。



- 2．DBに登録されている物件件数が種目別に表示されます。また、DB使用状況をバイト数で表示します。(※DBの容量は4 Gバイトです。)



- 3．「OK」をクリックします。

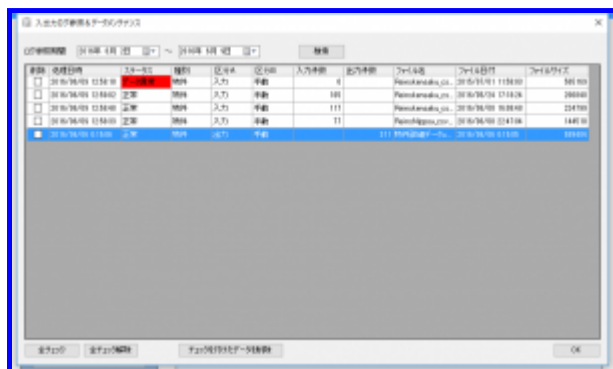
4－4．入出力ログ参照&データメンテナンス

物件詳細データの入出力ログを参照します。また、入力ログから任意のデータを削除します。

- 1．システム設定の「入出力ログ参照&データメンテナンス」をクリックします。



- 2．ログ参照期間を指定して、「検索」をクリックします。（※初期値は「1週間前～当日」を表示しています。）



〔ステータス〕

- | | | |
|-----------|-----|-------------------------|
| ・ 正常 | ・・・ | 処理が正常に終了 |
| ・ データ異常 | ・・・ | 何らかのエラーでデータの取り込み出来なかった。 |
| ・ データなし | ・・・ | ファイルは存在しているが、データが無い。 |
| ・ 対象データなし | ・・・ | データ出力時に対象となるデータが無い。 |
| ・ 種目未設定 | ・・・ | データ出力時の物件種目が設定されていない。 |
| ・ 抽出条件ミス | ・・・ | データ出力時の抽出条件の設定が正しくない。 |
| ・ 項目未設定 | ・・・ | データ出力時の書き出し項目が設定されていない。 |
| ・ エラー | ・・・ | 上記以外のエラー |

〔種別〕

「物件／顧客」を表示します。

〔区分A〕

「入力／出力」を表示します。

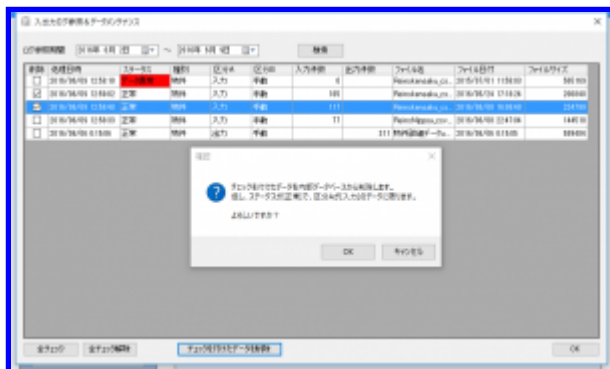
〔区分B〕

「自動／手動」を表示します。

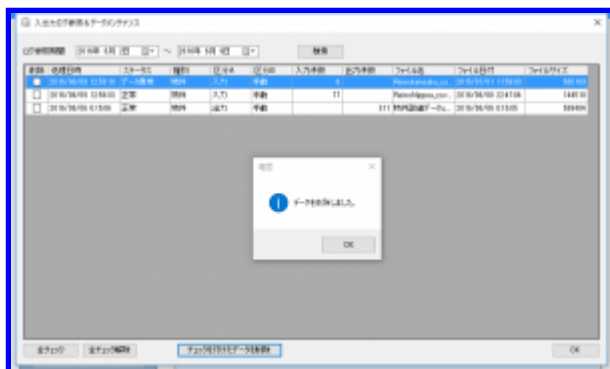
〔その他の表示項目〕

- ・入力件数 . . . 取り込んだ物件詳細データの件数を表示します。
- ・出力件数 . . . 書き出した物件詳細データの件数を表示します。
- ・ファイル名 . . . 入力または出力したファイルのファイル名を表示します。
- ・ファイル日付 . . . 入力または出力したファイルのファイル日付を表示します。
- ・ファイルサイズ . . . 入力または出力したファイルのファイルサイズを表示します。

3. 同じデータを二重取り込みしてしまった場合など、データを削除したい時は、区分Aが「入力」になっている当該データの先頭にチェックを付け、「チェックを付けたデータを削除」をクリックします。



4. データが削除されます。「OK」をクリックします。



5. 一度に全てのチェックを付けたい場合は、「全チェック」をクリックします。

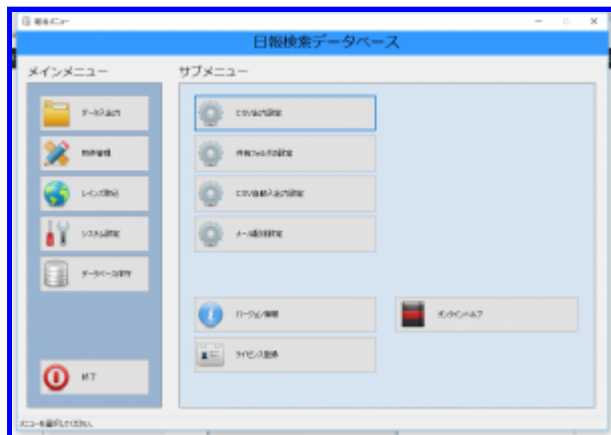
6. 一度に全てのチェックを外したい場合は、「全チェック解除」をクリックします。

7. 画面を閉じる場合は、「OK」をクリックします。

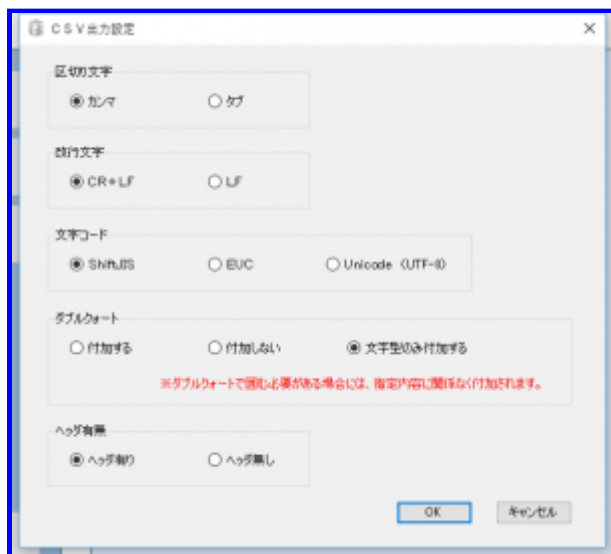
5－1．CSV出力設定

物件詳細データのCSV出力を行う際の出力形式を細かく設定します。

1．システム設定の「CSV出力設定」をクリックします。



2．設定を入力します。



【設定項目】

- | | | |
|----------|-----|-------------------------------------|
| ・区切り文字 | ・・・ | データとデータの間に挿入する区切り文字を指定します。 |
| ・改行文字 | ・・・ | 1レコード分のデータの最後に付加する改行文字を指定します。 |
| ・文字コード | ・・・ | 文字コードを指定します。 |
| ・ダブルクォート | ・・・ | データを囲むダブルクォート（””）をどのように付加するかを指定します。 |
| ・ヘッダ有無 | ・・・ | 先頭行にヘッダを追加するかどうかを指定します。 |

3．「OK」をクリックします。

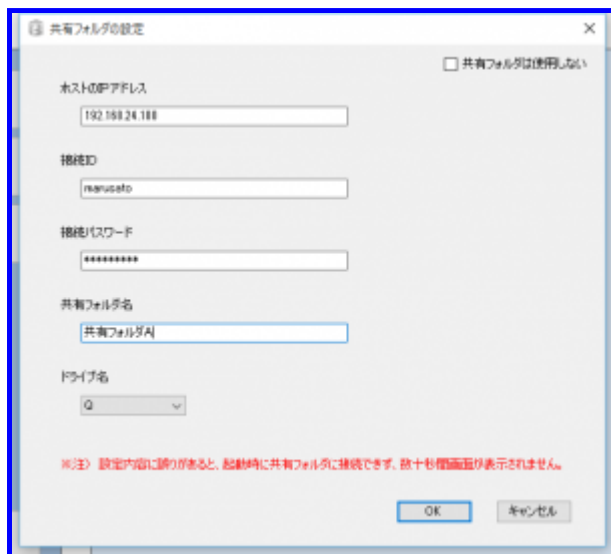
5－2．共有フォルダの設定

物件詳細データの入出力データが別のP Cの共有フォルダに指定されている場合、アクセスするために共有フォルダの設定をします。

- 1．システム設定の「共有フォルダの設定」をクリックします。



- 2．「共有フォルダは使用しない」のチェックを外し、下画面のように設定を入力します。



【設定項目】

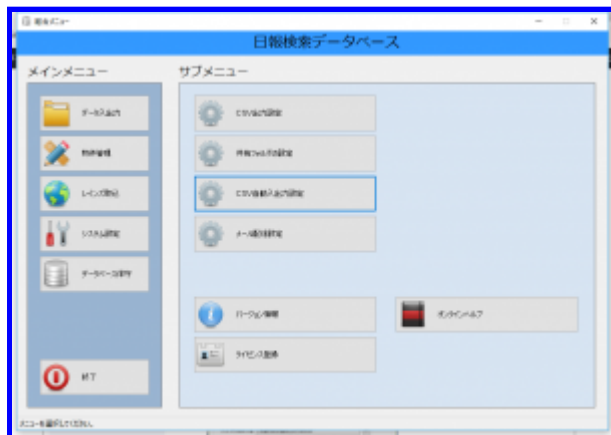
- | | | |
|----------------|-----|-----------------------------|
| ・ ホスト I P アドレス | ・・・ | 共有フォルダを提供しているパソコンの I P アドレス |
| ・ 接続 I D | ・・・ | 共有フォルダへ接続するための I D（ユーザ名） |
| ・ 接続パスワード | ・・・ | 共有フォルダへ接続するためのパスワード |
| ・ 共有フォルダ名 | ・・・ | 共有フォルダの名前 |
| ・ ドライブ名 | ・・・ | 共有フォルダへのアクセス時に割り当てるドライブ名 |

- 3．入力が終わったら「OK」をクリックし、確認メッセージで再度「OK」をクリックします。

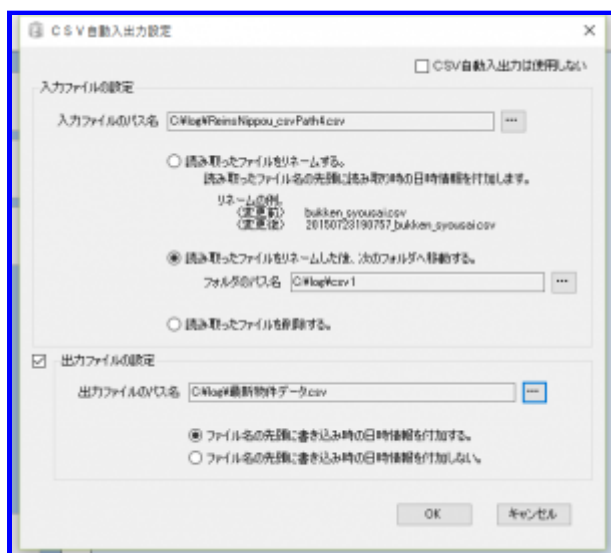
5－3．CSV自動入出力設定

物件詳細データのCSV入出力を自動で行うための設定をします。


- 1．システム設定の「CSV自動入出力設定」をクリックします。




- 2．「CSV自動入出力は使用しない」のチェックを外し、下画面のように設定を入力します。



【設定項目】

- ・入力ファイルのパス名 …… 入力ファイルのパス名（フォルダパス+ファイル名）を入力します。（をクリックします。）
- ・入力ファイルの設定 …… 入力ファイル読み取り後のファイルをどのようにするかの設定を行います。

- 1）読み取ったファイルをリネーム（ファイル名の先頭に日時を付加）する。
- 2）読み取ったファイルをリネーム後、指定したフォルダへ移動させる。
- 3）読み取ったファイルを削除する。

- ・入力ファイルの移動先 …… 入力ファイル読み取り後のファイルの移動先をフォルダパスで指定します。（をクリックします。）
- ・出力ファイルのパス名 …… 出力ファイルのパス名（フォルダパス+ファイル名）を入力します。

・出力ファイルの設定 . . . 出力ファイル書き込み後のファイルをどのようにするかの設定を行います。

- 1) 書き込んだファイルのファイル名の先頭に日時を付加する。
- 2) 書き込んだファイルのファイル名の先頭に日時を付加しない。

3. 入力が終わったら「OK」をクリックします。

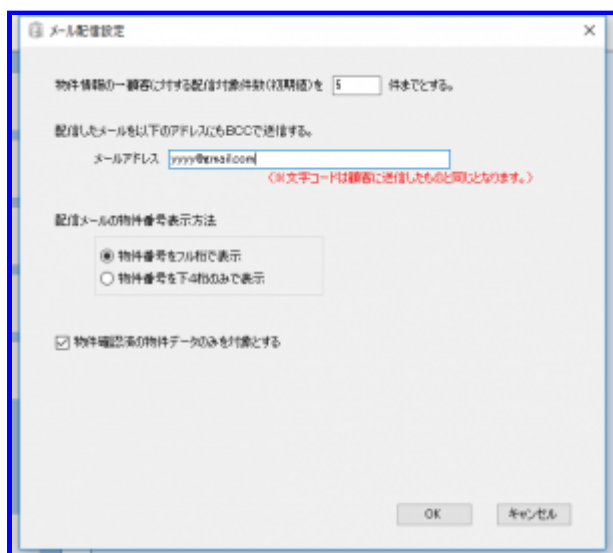
5-4. メール配信設定

物件詳細データのCSV入出力を自動で行うための設定をします。

1. システム設定の「メール配信設定」をクリックします。



2. 物件情報の一顧客に対する配信対象件数（初期値）」に初期値を入力します。（初期値：5）



※メール配信の際、初期値に設定した件数分、最初からチェックが付いています。

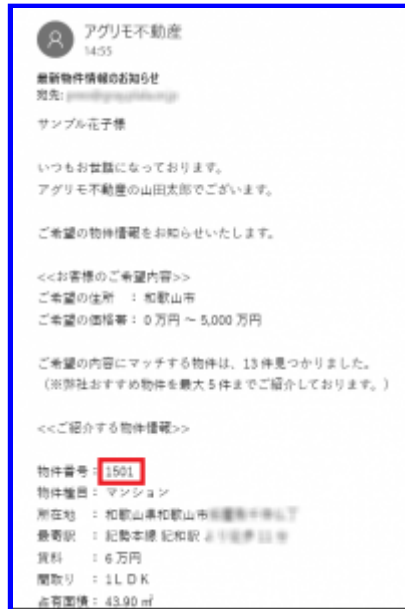
[illegible]

3. 顧客に配信されたメールの内容を別のメールアドレスにも転送して確認したい場合は、「配信したメールを以下のアドレスにもBCCで送信する」にメールアドレスを入力します。

※メール配信画面から顧客へ送信した物件情報メールのコピーが、指定のメールアドレスにも送信されます。この時、メールはBCCで送信されます。

4. 「配信メールの物件番号表示」を以下の中から選択します。

- ・物件番号をフル桁で表示 … 物件番号を加工なしの12ケタで表示する。
- ・物件番号を下4ケタのみで表示 … 物件番号を終わりの4ケタで表示する。(下図参照)



5. 物件確認の有効・無効を設定します。チェックを付けると有効になります。

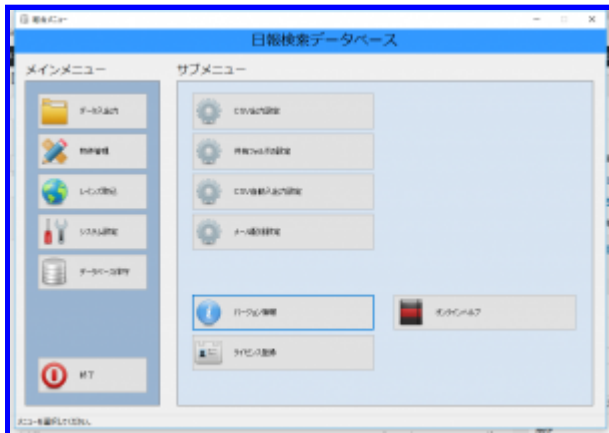
- ・物件確認有効 … メール配信の際、物件確認済の物件のみ対象となります。
- ・物件確認無効 … メール配信の際、物件確認状態に関係なく、すべてが対象となります。

6. 入力が終わったら「OK」をクリックします。

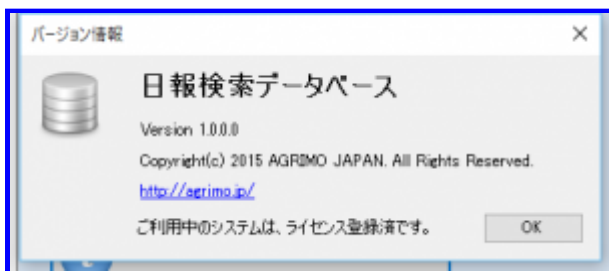
5－5．バージョン情報

日報検索データベースのバージョンを確認します。

- 1．システム設定の「バージョン情報」をクリックします。



- 2．バージョン情報ダイアログが表示されます。



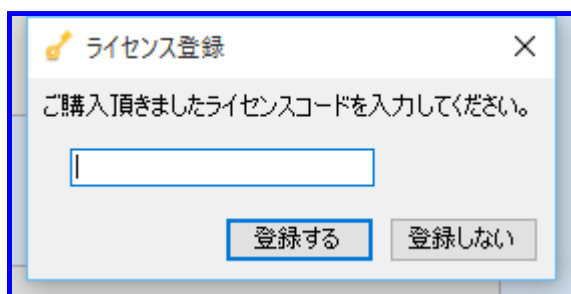
5－6．ライセンス登録

日報検索データベースのライセンスコードを登録します。

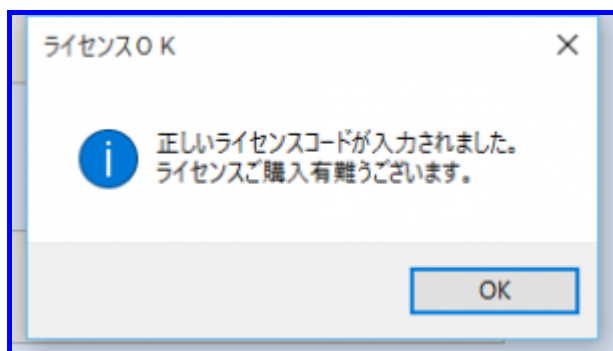
1. システム設定の「ライセンス登録」をクリックします。



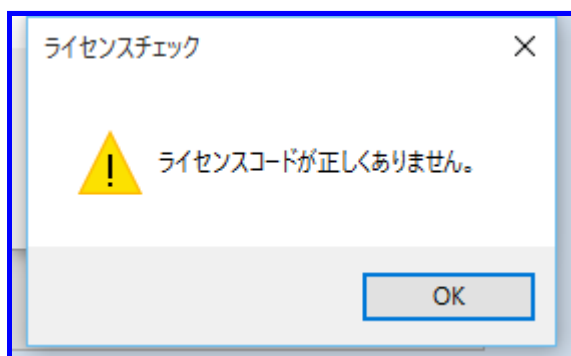
2. 下画面の入力欄にベクターで購入したライセンスコードを入力し、「登録する」をクリックします。



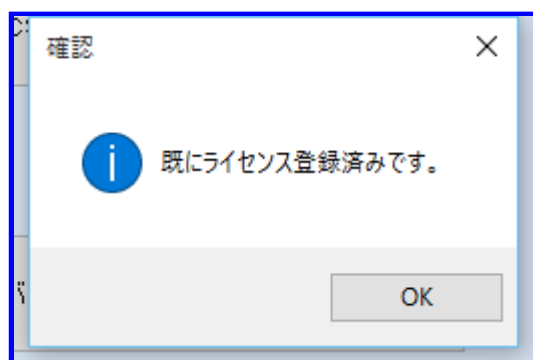
3. 正しいライセンスコードが入力された場合は、以下メッセージが表示されます。



4. 入力したライセンスコードが間違っている場合は、以下メッセージが表示されます。



5. 既にライセンス登録済みの場合は、以下メッセージが表示されます。

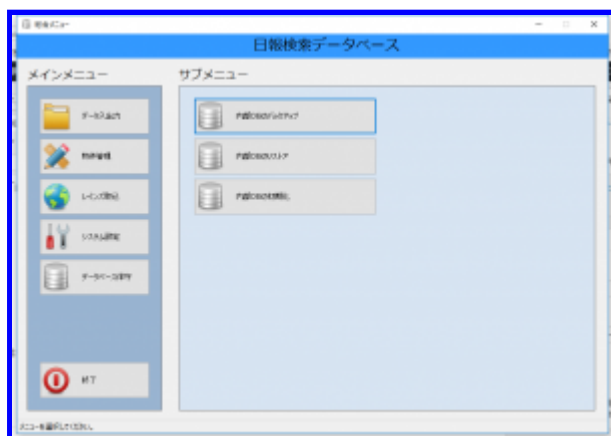


-
- The screenshot shows the AGRIMO.JP website. The header is blue with the text 'AGRIMO.JP (アグリモ)'. Below the header, there is a navigation menu on the left and a main content area on the right. The main content area has a blue background and contains text about the company's mission and a list of services. The footer includes contact information and a copyright notice.

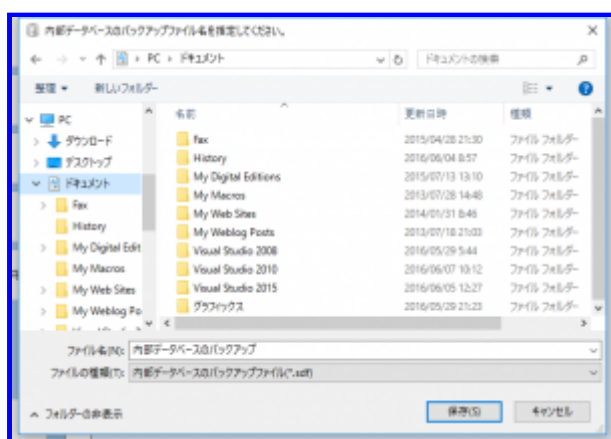
6－1．内部D Bのバックアップ

内部データベースの全データをファイル(SDF形式)にバックアップ（保存）します。

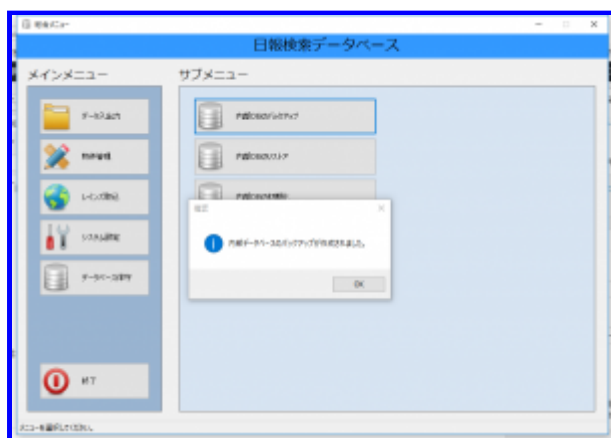
1) 「内部D Bのバックアップ」をクリックします。



2) 保存先とファイル名を指定して、「保存」をクリックします。



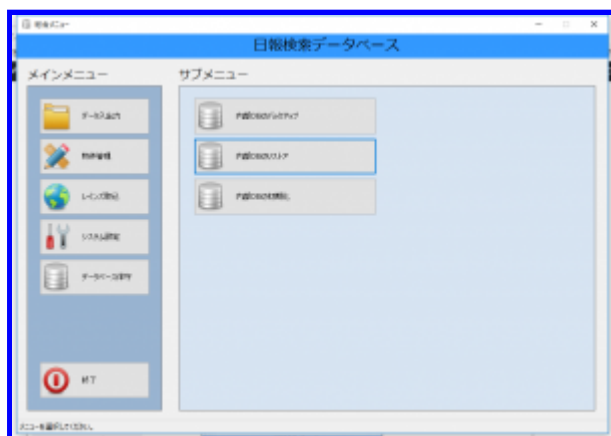
3) バックアップが作成されます。



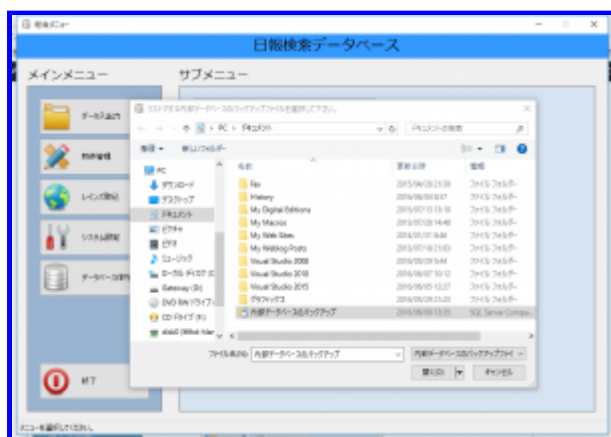
6－2．内部DBのリストア

内部データベースにバックアップデータ(SDF形式)をリストア（復元）します。

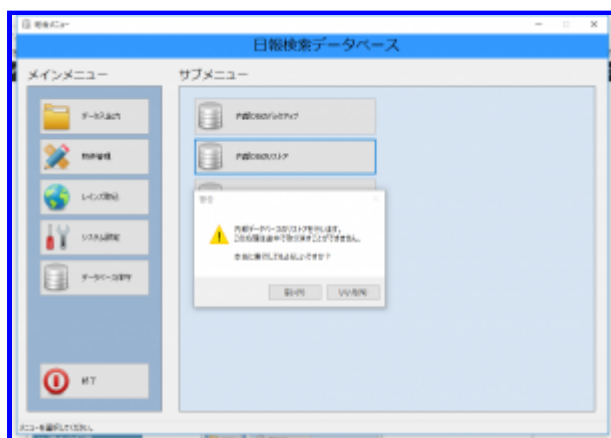
1) 「内部DBのリストア」をクリックします。



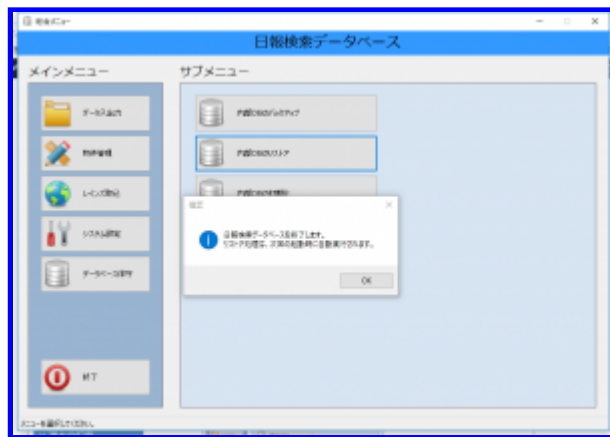
2) リストアするファイル名を指定して、「開く」をクリックします。



3) 警告メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。

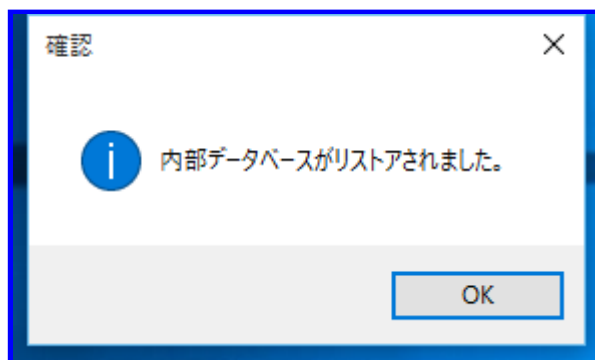


4) 「OK」をクリックします。(システムが終了します。)



5) システムを再度起動します。

確認メッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



6) リストアが完了します。

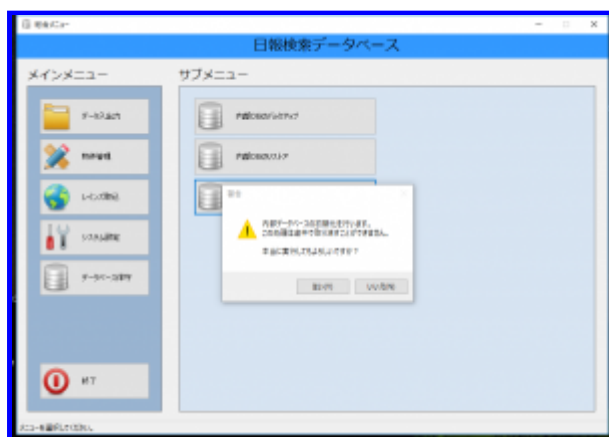
6－3．内部D Bの初期化

内部データベースを初期化します。

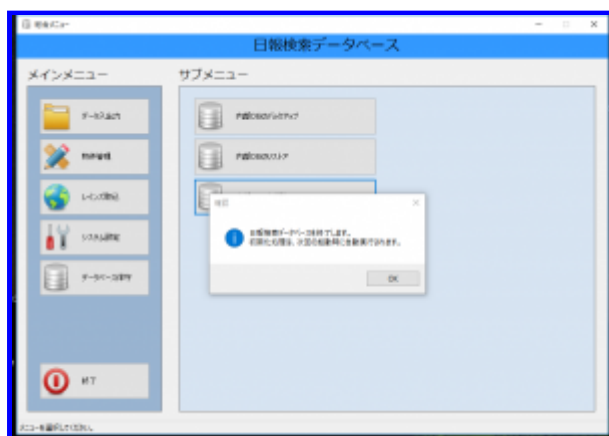
1) 「内部D Bの初期化」をクリックします。



2) 警告メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。

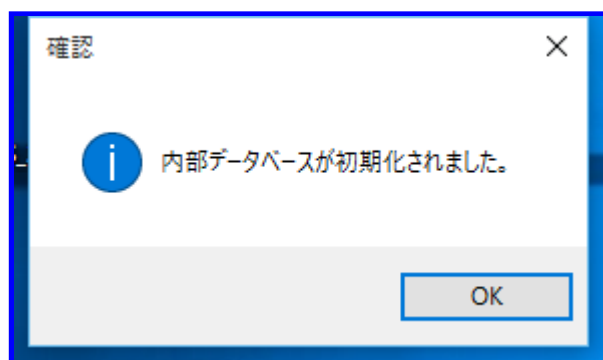


3) 「OK」をクリックします。(システムが終了します。)



4) システムを再度起動します。

確認メッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



5) 初期化が完了します。

7. データフィルタの仕様

データフィルタに記述する構文例は、次のようになります。

- 1) データ内の特定文字を除去する場合

```
REPLACE($$$, ' m' , '' )      [m]を除去します。  
REPLACE($$$, ' 分' , '' )     [分]を除去します。
```

- 2) データ内の[万円]と[.00]と[,]を除去する場合

```
REPLACE(REPLACE(REPLACE($$$, ' 万円' , '' ), ' ,' , '' ), ' .002032' , '' )
```

- 3) データ内の[2015年8月1日]を[2015/8/1]に変換する場合

```
CONVERT(NVARCHAR,CAST(REPLACE(REPLACE(REPLACE($$$, ' 年' , ' /' ), ' 月' , ' /' ), ' 日' , '' ) AS DATETIME),111)
```

- 4) 「駅より徒歩、駅よりバス、バス停より徒歩」の何分の数字だけを取得したい場合

```
SUBSTRING($$$, 1, PATINDEX( ' %分%' , $$$) - 1)
```

【留意事項】

- 「\$\$\$」は、データ項目名を表しています。
- 日報検索データベースは、内部DBに「SQL Server Compact 4.0」を使用しています。その為、記述する構文は、この「SQL Server Compact 4.0」のSQL構文に準拠しています。
- 「SQL Server Compact 4.0」に関する詳しい情報は、マイクロソフトのリファレンスページ ([https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms173372\(v=sql.110\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms173372(v=sql.110).aspx)) の関数に関する箇所をご参照下さい。

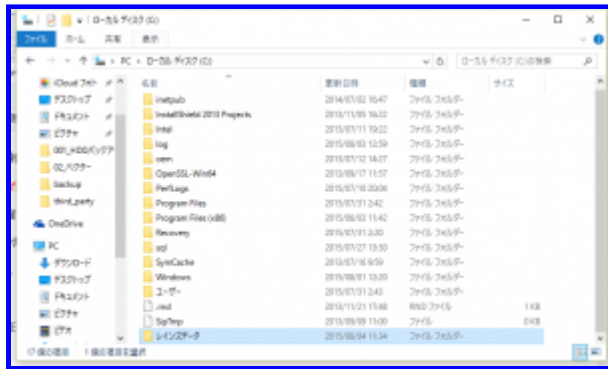
8. 日報（検索）データ自動取得システムと同期する

日報検索データベースと日報（検索）データ自動取得システムDTを同期させるには、次のように設定してください。

※日報（検索）データ自動取得システムDTは、CSV4の出力機能のある V2.0以降をご利用ください。
（タイマー起動が利用できる連動機能を強化した V2.4以降のご利用をお勧めします。）

< 1. 前準備 >

まず、CSVデータが出力される場所を用意します。
アクセス可能な任意の場所にフォルダを作ります。（※例では、「レインズデータ」フォルダを作成）



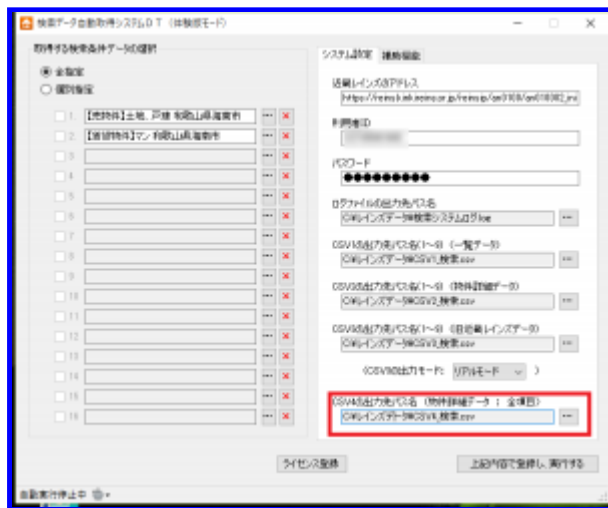
＜2. 日報データ自動取得システムDTの設定＞

設定は下図のように設定します。（※特に赤字のところは、このようにして下さい。）



＜3. 検索データ自動取得システムDTの設定＞

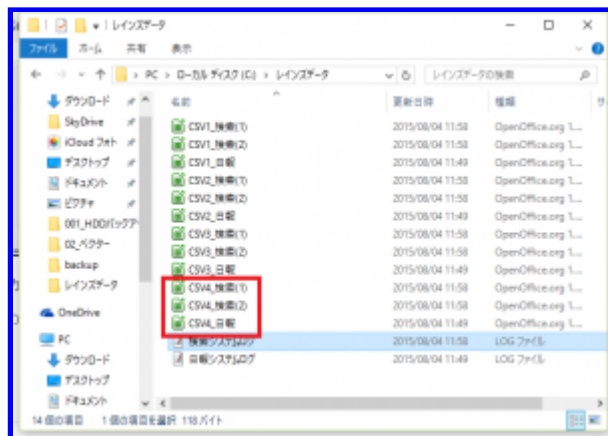
設定は下図のように設定します。（※特に赤字のところは、このようにして下さい。）



< 4. 出力ファイルの確認 >

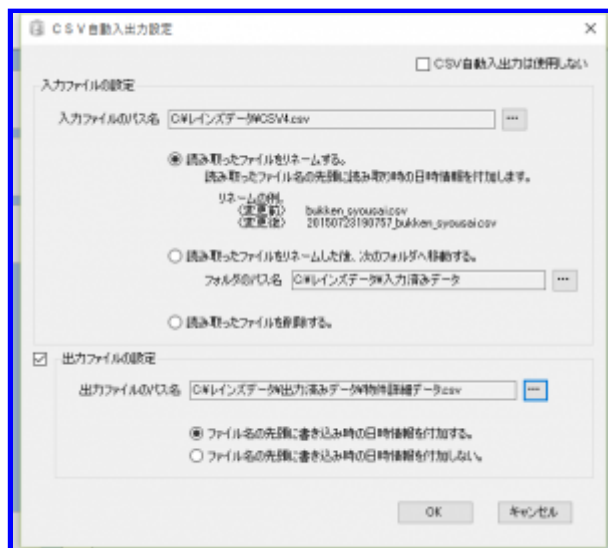
上記の通り設定すると、出力されるファイルは、下図のようになります。

注目するところは、日報と検索から出力されたCSVファイルが、ファイル名の先頭4文字が同じ「CSV4」で始まっている点です。このように揃えておく必要があります。



< 5. 日報検索データベースの設定 >

CSV自動入出力設定を下図のように設定します。



< 6. 運用例 >

1. 日報検索データベースを起動しておきます。
2. 日報（検索）自動取得システムDTを（手動または自動で）起動して、物件データをダウンロードします。
3. CSV4ファイルが作成されたと同時に日報検索データベースがCSV入出力処理を開始します。
4. CSV4ファイルの数だけCSV入出力処理が行われ、完了します。
5. 出力されたCSVを社内システムへ取り込んで下さい。

9. アカウント設定のサンプル（gmail、他）

1) 最も一般的なメール設定

The screenshot shows a 'Mail Account Settings' dialog box with the following fields and options:

- ユーザ情報**
 - 名前: アグリモ不動産
 - 電子メールアドレス: xxxx@email.co.jp
- サーバー情報**
 - アカウントの種類: POP3 (dropdown)
 - 受信メールサーバー: pop.email.co.jp, ポート: 110, ☐ SSL
 - 送信メールサーバー: smtp.email.co.jp, ポート: 25, ☐ SSL
 - ☐ SMTP認証
- メールサーバーへのログイン情報**
 - アカウント名: xxxx
 - パスワード: *****
- Buttons: OK, キャンセル

2) OP25Bブロックに対応したメール設定（587ポート使用、SMTP認証有り）

The screenshot shows a 'Mail Account Settings' dialog box with the following fields and options:

- ユーザ情報**
 - 名前: アグリモ不動産
 - 電子メールアドレス: yyyy0123@nike.eonet.ne.jp
- サーバー情報**
 - アカウントの種類: POP3 (dropdown)
 - 受信メールサーバー: pop.eonet.ne.jp, ポート: 110, ☐ SSL
 - 送信メールサーバー: smtpauth.eonet.ne.jp, ポート: 587, ☐ SSL
 - ☒ SMTP認証
- メールサーバーへのログイン情報**
 - アカウント名: yyyy0123@nike.eonet.ne.jp
 - パスワード: *****
- Buttons: OK, キャンセル

3) Gmail（SSL通信有り、SMTP認証有り）

メールアカウント設定



ユーザ情報

名前

電子メールアドレス

サーバー情報

アカウントの種類

受信メールサーバー ポート ☒ SSL

送信メールサーバー ポート ☒ SSL

☒ SMTP認証

メールサーバーへのログイン情報

アカウント名

パスワード

OK

キャンセル

10. 条件式の書き方

【条件式の書き方サンプル】

■新築マンション・中古マンションの売り物件

```
(([データ種類] = '売物件' and [物件種別] = 'マン' and [物件種目] = '新築マン' )  
OR  
([データ種類] = '売物件' and [物件種別] = 'マン' and [物件種目] = '中古マン' ))
```

■大阪府堺市中区の物件

```
([所在地] like '大阪府%堺市%中区%')
```

■現況が「居住中」または「賃貸中」の物件

```
(([現況] = '居住中') OR ([現況] = '賃貸中'))
```

■7日以内に更新のあった物件

```
datediff(day,[更新年月日],GETDATE()) <= 7
```

■広告可（一部可を含む）の物件

```
(([広告転載区分] = '広告可') OR  
([広告転載区分] = '一部可ネット') OR  
([広告転載区分] = '一部可新聞チラシ'))
```

■近鉄難波・奈良線沿線の物件

```
[沿線] like '%近鉄難波・奈良線%'
```

■価格が3000万円～3500万円の売り物件

```
[データ種類] = '売物件' and [価格] >= 3000 and [価格] < 3500
```

■賃貸価格が5.5万円～6万円の賃貸物件

```
([データ種類] = '賃貸物件' or [データ種類] = '成約賃貸物件') and [賃料] >= 5.5 and  
[賃料] < 6
```

■部屋の間取りが3LDK（3SLDKを含む）

```
[間取り] = '3LDK' or [間取り] = '3LDK' or [間取り] = '3SLDK' or [間取り]  
= '3SLDK'
```

■駅から徒歩15分以内

```
[徒歩] <= 15
```